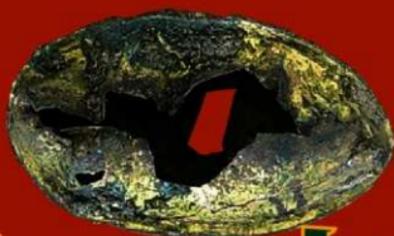
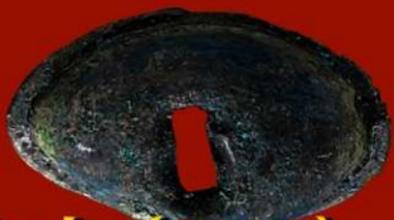




佐久市文化財



年報

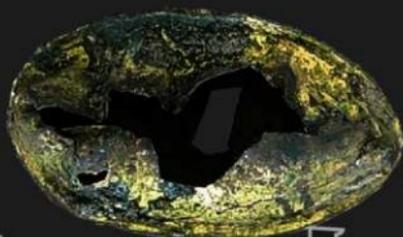


令和 4 年度 (2022)

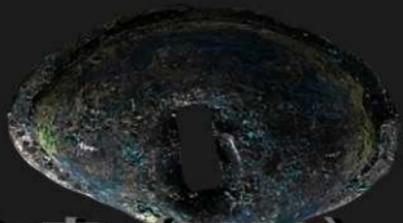
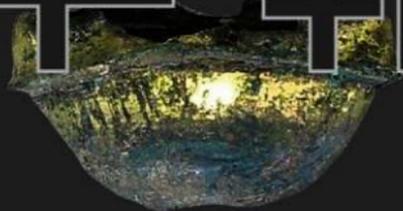




佐久市文化財



年報



令和4年度 (2022)



例 言

- 1 本書は佐久市教育委員会が、令和4年度に実施した普及啓発活動と埋蔵文化財調査の概要報告書である。
- 2 本書の編集は小林が行い、埋蔵文化財調査の概要は、各調査担当が執筆した。
- 3 本書に使用した1:50,000の地図は、国土地理院長の承認を得て、佐久市が複製したものである。



佐久市の位置

目次

例言 目次 機構 体制

I 指定文化財保護事業

1 国・県・市指定文化財

(1) 文化財保護審議会	4
2 普及・公開	
(1) 国史跡・重要文化財 旧中込学校及び資料館	5
(2) ガソリンカー及び蒸気機関車	6
(3) 島崎藤村旧宅	7
(4) 国史跡 龍岡城跡	7
(5) 動画等による周知及び活用	9
(6) 撮影・掲載	9

II 埋蔵文化財事業

1 保護・保存（記録保存）

(1) 方針	11
(2) 状況	11
(3) 実施概要	11
(4) 刊行図書	11
(5) 出土遺物保存処理・自然科学分析	12

2 普及・公開

(1) 第41回少年考古学教室	12
(2) 講座	12
(3) 貸出・掲載	12

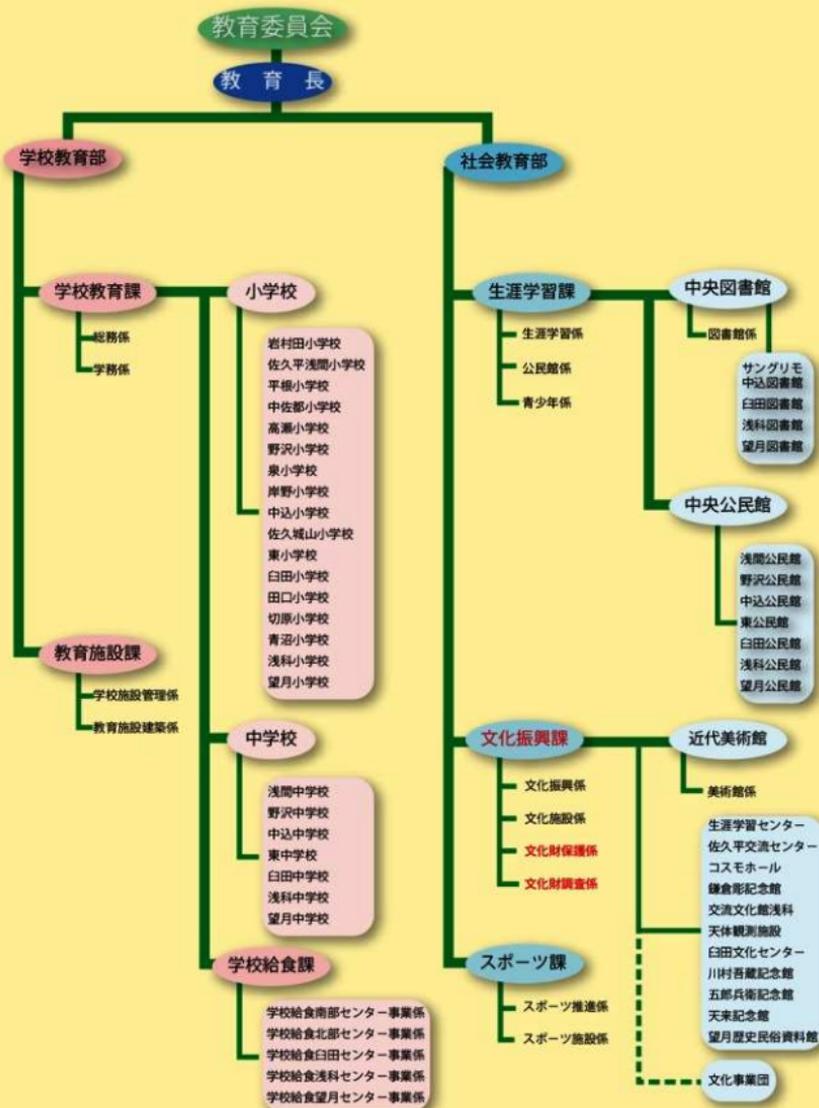
3 調査概要

1 北上中原遺跡Ⅰ	24
2 野馬久保遺跡Ⅲ	25
3 若宮遺跡Ⅵ	26
4 志賀神明の木遺跡Ⅱ・石田遺跡Ⅱ	28
5 根々井居屋敷遺跡Ⅱ	29
6 根々井居屋敷遺跡Ⅲ	30
7 曇畑遺跡	31

4 調査報告

1 金山遺跡	33
2 反田遺跡Ⅱ	36
3 岩村田池畑遺跡	42
4 西芝間遺跡	46
5 塚原西屋敷遺跡	51
6 龍岡城跡 堀渡溝に伴う発掘調査	55
7 龍岡城跡 樹形通路部分発掘調査	56
8 香坂山遺跡	57
9 中込・大塚古墳	58

機 構



体 制

● 佐久市教育委員会

教育長	吉岡道明
社会教育部長	土屋 孝
文化振興課長	中沢栄二
企画幹	井上 剛
文化財保護係長	渡邊 理
文化財保護係	生島修平
文化財調査係長	伊澤信子（6月まで） 山本秀典（7月から）
文化財調査係	富沢一明 上原 学 久保浩一郎 松下友樹 小林真寿

● 文化財保護審議会

会 長	佐々木久雄（令和4年5月29日まで） 白田武正（令和5年1月20日から）
委 員	春原邦江 山崎哲人 小平 貴 金原 正 小林一洋 田澤直人 大竹幸恵 大谷典子
	任期：令和3年（2021年）9月1日～令和5年（2023年）8月31日

● 資料館協議会

会 長	市川 浩
委 員	石山通泰 小澤恒夫 浅川 博 白鳥貴文 白田武正 中村八恵子 小林貞子 奥村繁子 加藤由香
	任期：令和3年（2021年）9月1日～令和5年（2023年）8月31日

● 国史跡龍岡城跡保存整備委員会

会 長	高笠利彦
委 員	梅干野成央 佐々木邦博 河西克造 白田武正 西形達明 竹内正明 田原貴夫 鷺見和人
	任期：令和3年（2021年）6月1日～令和5年（2023年）5月31日

● 大給恒顕彰委員会

会 長	伊藤純郎
委 員	尾崎行也 山崎哲人 増田友厚 鷺見和人 中野亮一 大給乗龍 佐藤悦生
	任期：令和3年（2021年）4月1日～令和5年（2023年）3月31日

● 佐久市香坂山遺跡調査指導委員会

会 長	佐藤宏之
委 員	国武貞克 白田武正 大竹幸恵 須藤隆司
	任期：令和4年（2022年）4月1日～令和7年（2025年）3月31日

1 指定文化財保護事業

1 国・県・市指定文化財

佐久市内には、指定文化財が174件（国指定15件、県指定25件、市指定134件）、国登録有形文化財が3件存在します。

以下にその内容を一覧表記します。



国史跡龍岡城跡

●国指定文化財一覧表

国指定	文化財名	名 称	員数	所在地	所有者又は継承者	指定年月日
1	重要文化財	旧中込学校校舎（附 建築文書3点）	1棟	中 込	佐久市	S44.3.12
2	史 跡	旧中込学校	1箇所	中 込	佐久市	S44.4.12
3	史 跡	龍岡城跡	1箇所	田 口	佐久市	S9.5.1
4	重要文化財	紙本著色一遍上人絵伝 巻第二	1巻	野 沢	金台寺	S9.1.30
5	重要文化財	紙本墨書他阿上人自筆仮名消息	1軸	野 沢	金台寺	S9.1.30
6	重要文化財	駒形神社本殿（附 棟札4枚）	1棟	塚 原	駒形神社	S24.5.30
7	重要文化財	鉄 鐘	1口	跡 部	個人	S52.6.11
8	重要文化財	新海三社神社三重塔	1基	田 口	新海三社神社	M40.8.28
9	重要文化財	新海三社神社東本社	1棟	田 口	新海三社神社	S12.7.29
10	重要文化財	六地藏像	1基	入 沢	佐久市	S36.3.23
11	重要文化財	高良社（旧八幡神社本殿）	1棟	蓬 田	八幡神社	S17.12.22
12	重要文化財	福王寺の木造阿彌陀如来坐像	1体	協 和	福王寺	S25.8.29
13	重要文化財	真山家住宅	2棟	望 月	個人	S48.6.2
14	重要無形民俗文化財	跡部の踊り念仏	1つ	跡 部	跡部踊り念仏保存会	H12.12.27
15	天然記念物	岩村田ヒカリゴケ産地	1箇所	岩村田	佐久市	T10.3.3

●県指定文化財一覧表

県指定	文化財名	名 称	員数	所在地	所有者又は継承者	指定年月日
16	県 宝	木造阿彌陀如来坐像	1体	岩村田	西念寺	S34.11.9
17	県 宝	木造地藏菩薩半跏倚像	1体	根々井	正法寺	S44.5.15
18	県 宝	版本大般若経	577巻	安 原	安養寺	S63.3.24
19	県 宝	貞祥寺三重塔	1基	前 山	貞祥寺	H4.9.10
20	県 宝	木造阿彌陀如来及び両脇侍立像	3体	安 原	安養寺	H6.8.15
21	県 宝	貞祥寺惣門及び山門	2門	前 山	貞祥寺	H15.4.21
22	県 宝	井出家座敷	1室	白 田	個人	S50.7.21
23	県 宝	上宮寺梵鐘	1基	田 口	上宮寺	S52.3.31
24	県 宝	鍔削造鍔金花瓶	1口	白 田	弥勒寺	S61.3.27
25	県 宝	金剛力士像	2体	田 口	上宮寺	H21.4.20
26	県 宝	安養寺の木造伝法燈国師坐像	1体	安 原	安養寺	H22.10.19
27	県 宝	福王寺絹本著色爰染明王像	1体	協 和	福王寺	H27.9.15
28	県 宝	東一本柳古墳出土品	一括	—	佐久市	R3.10.18
29	無形民俗文化財	湯原神社式三番	1つ	湯 原	湯原神社式三番保存会	S56.2.2
30	史 跡	三河田大塚古墳	1基	三河田	個人	S37.7.12
31	史 跡	伴野城跡	1箇所	野 沢	大伴神社・佐久市	S40.4.30
32	史 跡	根井氏館跡	1箇所	根々井	正法寺	S40.7.29
33	史 跡	北高禪師墓碑	1基	岩村田	龍雲寺	S44.10.2
34	史 跡	岩尾城跡	1箇所	鳴 瀬	個人39人	S46.5.27
35	史 跡	平賀氏城跡	1箇所	常和・平賀	個人37人	S46.5.27
36	史 跡	大井城跡（王城・黒岩城）	2箇所	岩村田	個人34人	S46.5.27
37	史 跡	五郎兵衛用水	1路	望月・浅科	佐久市・国土交通省	S58.12.26
38	天然記念物	王城のケヤキ	1本	岩村田	荒酒十二社	S61.3.27
39	天然記念物	広川原の洞穴群	11穴9池	田 口	禅昌寺・個人	S51.3.29
40	天然記念物	白田トンネル産の古型マンモス化石	49点	—	佐久市	H25.3.25

●市指定文化財一覧表1

市指定	文化財名	名 称	員数	所在地	所有者又は継承者	指定年月日
41	有形文化財	金台寺の錠	1口	野 沢	金台寺	S46.10.1
42	有形文化財	竹田の錠(一)	1口	根 岸	個人	S46.10.1
43	有形文化財	竹田の錠(二)	1口	—	佐久市	S46.10.1
44	有形文化財	平賀村中善寺大般若経	600巻	平 賀	宗福寺	S49.12.1
45	有形文化財	下桜井村寛永の五人組帳	1冊	桜 井	個人	S49.12.1
46	有形文化財	永禄十一年上原筑前御恩御検地帳	2冊	瀬 戸	個人	S49.12.1
47	有形文化財	平尾大社本殿	1棟	上平尾	平尾大社	S49.12.1
48	有形文化財	取出町百番観音	100体	取出町	取出町区	S49.12.1
49	有形文化財	桃源院木造地藏菩薩坐像	1体	鳴 瀬	桃源院	S49.12.1
50	有形文化財	大沢村旧長命寺二王堂應永在銘石柱	1柱	大 沢	長命寺	S54.9.25
51	有形文化財	歴應在銘石碑	1基	中 込	正楽寺	S57.3.1
52	有形文化財	龍雲寺の中世文書	38点	岩村田	龍雲寺	S62.10.20
53	有形文化財	安養寺の中世文書	7点	安 原	安養寺	S62.10.20
54	有形文化財	上直路遺跡出土遺物	一括	—	佐久市	S62.10.20
55	有形文化財	北西ノ久保遺跡出土の埴輪	一括	—	佐久市	S62.10.20
56	有形文化財	周防焼B遺跡出土遺物	一括	—	佐久市	S62.10.20
57	有形文化財	中道遺跡出土遺物	一括	—	佐久市	S62.10.20
58	有形文化財	瀧ノ峯古墳群出土遺物	一括	—	佐久市	S62.10.20
59	有形文化財	後沢遺跡出土遺物	一括	—	佐久市	S62.10.20
60	有形文化財	大井法華堂修験関係文書	859点	千曲市	長野県立歴史館	H1.11.6
61	有形文化財	本道堂染明王坐像および脇侍木造両界大日如来坐像	3体	志 賀	法禅寺	H1.11.6
62	有形文化財	旧大沢小学校	1棟	大 沢	佐久市	H8.6.6
63	有形文化財	金戸洞窟堂 洞 窟、石造佛壇及び立像、加古石造石像等(群像)	1棟	前 山	真祥寺	H10.4.30
64	有形文化財	岩村田若宮神社祇園社神輿	1基	岩村田	荒川区	H24.6.28
65	有形文化財	正法寺多層塔	1基	根々井	正法寺	H10.12.28
66	有形文化財	相沢寺仏面	41面	白 田	<small>佐久市・白田町地区自治会共同管理運営委員会</small>	S48.3.10
67	有形文化財	田野口藩陣屋日記	372冊	—	佐久市	S50.11.22
68	有形文化財	湯原神社青銅駒口	1口	湯 原	湯原神社	S52.3.31
69	有形文化財	大宮諏訪神社青銅駒口	1口	入 沢	大宮諏訪神社	S52.3.31
70	有形文化財	信濃奇勝録版木	1組	白 田	個人	S52.3.31
71	有形文化財	滝秩父礼所観音石仏	34尊	湯 原	湯原区	S53.2.17
72	有形文化財	水落観音町石仏	13尊	田 口	水落山観音院	S53.2.17
73	有形文化財	相沢寺平錠	1口	白 田	相沢寺	S54.3.31
74	有形文化財	弥勒寺板碑	1基	白 田	弥勒寺	S54.3.31
75	有形文化財	医王寺板碑	1基	白 田	医王寺	S54.3.31
76	有形文化財	御魂代石	1基	田 口	新海三社神社	S55.3.31
77	有形文化財	岩水秩父礼所観音木像	34体	平 林	岩水区	S55.3.31
78	有形文化財	大宮諏訪神社石棒	1本	入 沢	大宮諏訪神社	S57.4.1
79	有形文化財	解体人形	1体	田 口	個人	S57.4.1
80	有形文化財	磨崖石仏群	5基	三 分	三分区	S58.3.25
81	有形文化財	堀の石像	1体	下小田切	下小田切区	S58.3.25
82	有形文化財	大日宝塔	4基	三 分	遍照寺	S58.3.25
83	有形文化財	丸山家中世古文書	3点	田 口	個人	S58.3.25
84	有形文化財	新海三社神社中世古文書	3点	田 口	新海三社神社	S58.3.25
85	有形文化財	小太刀古丸弓	1振	入 沢	個人	S60.3.28
86	有形文化財	地獄極楽図	2軸	白 田	弥勒寺	S62.3.25
87	有形文化財	入沢焼茶壺	1点	—	佐久市	S63.4.18
88	有形文化財	物部の銅印	1個	清 川	個人	H5.7.1
89	有形文化財	蕨手刀	1振	—	佐久市	H5.7.1
90	有形文化財	鈔帯具	1組	—	佐久市	H5.7.1
91	有形文化財	山宮家中世古文書	4点	田 口	個人	H8.5.1
92	有形文化財	龍岡藩高札場	1棟	田 口	佐久市	H9.4.1
93	有形文化財	日影堂百番観音木像	1008—式	白 田	医王寺	H9.4.1
94	有形文化財	吉祥寺山門	1棟	入 沢	吉祥寺	H10.4.1
95	有形文化財	薬師堂薬師三尊像	3体	入 沢	日向 一族	H10.4.1
96	有形文化財	泉龍院涅槃図	1軸	中小田切	泉龍院	H12.3.27
97	有形文化財	磨崖青面金剛	1尊	田 口	個人	H14.3.6
98	有形文化財	新海三社神社中本社・西本社	2棟	田 口	新海三社神社	H14.3.6

●市指定文化財一覧表2

市指定	文化財名	名 称	員数	所在地	所有者又は継承者	指定年月日
99	有形文化財	大宮諏訪神社本殿	1棟	入 沢	大宮諏訪神社	H15.3.6
100	有形文化財	三条神社本殿	1棟	入 沢	三条区	H15.3.6
101	有形文化財	矢島の五輪塔	1基	矢 島	宝泉寺	S25.12.1
102	有形文化財	五輪塔群	1群	塩名田	塩名田区	S47.8.1
103	有形文化財	山の神石祠	1基	御馬寄	御馬寄区	S56.8.1
104	有形文化財	石仏十王像	5尊	御馬寄	御馬寄区	S56.8.1
105	有形文化財	矢鳥道祖神	1基	矢 島	矢鳥区	S62.10.1
106	有形文化財	長念寺の木造阿彌陀如来立像及び胎内文書	1体	甲	長念寺	H9.2.20
107	有形文化財	八幡神社の算額	1面	蓬 田	八幡神社	H9.2.20
108	有形文化財	八幡神社の瑞垣門	1棟	蓬 田	八幡神社	H9.2.20
109	有形文化財	八幡神社の随神門	1棟	蓬 田	八幡神社	H9.2.20
110	有形文化財	八幡神社の本殿	1棟	蓬 田	八幡神社	H9.2.20
111	有形文化財	百番観音石仏群	100尊	春日	個人	S61.9.10
112	有形文化財	市川家の石造大日如来	1体	布 施	個人	S61.9.10
113	有形文化財	城光院の石造庚申塔	1基	望 月	城光院	S61.9.10
114	有形文化財	城光院の石造十王像	10尊	望 月	城光院	S61.9.10
115	有形文化財	城光院の石造宝篋印塔	4基	望 月	城光院	S61.9.10
116	有形文化財	万治の石造大日如来	1体	協 和	個人	S61.9.10
117	有形文化財	福王寺の石造庚申塔	1基	協 和	福王寺	S61.9.10
118	有形文化財	福王寺の木造日光菩薩立像	1体	協 和	福王寺	S61.9.10
119	有形文化財	福王寺の木造月光菩薩立像	1体	協 和	福王寺	S61.9.10
120	有形文化財	福王寺の木造雨宝童子立像	1体	協 和	福王寺	S61.9.10
121	有形文化財	福王寺の木造毘沙門立像	1体	協 和	福王寺	S61.9.10
122	有形文化財	月輪寺跡の石造梵塔婆	1基	印 内	印内区	S61.9.10
123	有形文化財	天神の元祿の石造双体道祖神	1体	協 和	天神区	S61.9.10
124	有形文化財	入布施の石造片手合掌双体道祖神	1体	布 施	入布施区	S61.9.10
125	有形文化財	牧布施の石造庚申塔	1基	布 施	牧布施区	S61.9.10
126	有形文化財	不動明王立像	1体	春 日	蓮華寺	H20.6.13
127	有形文化財	立鼓柄刀	1振	—	佐久市	H28.12.22
128	有形文化財	藤ヶ城跡井戸	1基	岩村田	佐久市	R46.30
129	有形文化財	八風山遺跡群出土品	100点	—	佐久市	R5.1.26
130	無形民俗文化財	岩村田祇園におけるお船様祭り	1つ	岩村田	荒沼区	S58.9.1
131	無形民俗文化財	上原の鳥追い祭り	1つ	甲	上原鳥追い祭り保存会	H9.2.20
132	無形民俗文化財	岩下の踊り念仏	1つ	春 日	岩下踊り念仏保存会	S61.9.10
133	無形民俗文化財	根神式式三番叟	1つ	春 日	根神式式三番叟保存会	S61.9.10
134	無形民俗文化財	神祭	1つ	望 月	望月区	S61.9.10
135	無形民俗文化財	春日本郷地区道祖神祭り	1つ	春 日	春日本郷地区道祖神祭り保存会	H10.2.20
136	史 跡	大梅禪師墓碑	1基	内 山	正安寺	S45.10.1
137	史 跡	龍崎沢端一里塚東塚	1基	岩村田	個人	S45.10.1
138	史 跡	安原大塚古墳	1基	安 原	英多神社	S45.10.1
139	史 跡	北西ノ久保の石造塔婆群	1群	岩村田	佐久大学	S49.12.1
140	史 跡	正楽院の供養塔	1基	平 賀	長福寺	S49.12.1
141	史 跡	前山城跡	1箇所	前 山	個人11人	S56.4.23
142	史 跡	瀬ノ峯古墳群	4基	根 岸	個人6名	S62.10.20
143	史 跡	後沢遺跡	1箇所	小宮山	佐久市	S62.10.20
144	史 跡	蛇塚古墳	1基	白 田	佐久市	S47.5.5
145	史 跡	幸神古墳群	4基	田 口	新海三社神社	S47.5.5
146	史 跡	西の窪19号古墳	1基	入 沢	個人	S47.5.5
147	史 跡	塩名田本陣跡	1棟	塩名田	個人	S25.12.1
148	史 跡	御馬寄古城跡	1箇所	御馬寄	個人	S25.12.1
149	史 跡	土合一号古墳	1基	甲	個人	S25.12.1
150	史 跡	火の雨塚古墳	1基	桑 山	個人	S25.12.1
151	史 跡	虚空蔵のろし台跡	1箇所	矢 島	八幡神社	S25.12.1
152	史 跡	舟つなぎ石	1個	塩名田	国土交通省	S25.12.1
153	史 跡	野馬除け柵跡	数箇所	桑山・蓬田・市原	個人	S35.8.15
154	史 跡	中山道一里塚跡	1箇所	甲	個人	H9.2.20
155	史 跡	八幡宿本陣跡	1箇所	八 幡	個人	H9.2.20
156	史 跡	兜山古墳	2基	八幡・蓬田	個人	H16.11.24

●市指定文化財一覧表3

市指定	文化財名	名 称	員数	所在地	所有者又は継承者	指定年月日
157	史 跡	下吹上遺跡	1箇所	協 和	佐久市	S61.9.10
158	史 跡	中山道	—	佐久市	佐久市	S61.9.10
159	史 跡	王塚古墳	1基	協 和	比田井区	S61.9.10
160	名 勝	皎月原	1箇所	小田井	佐久市	S53.2.1
161	天然記念物	白山神社イチイの古樹	1本	常 和	白山神社	S45.10.1
162	天然記念物	野沢町の女男木	1本	野 沢	大伴神社	S46.10.1
163	天然記念物	チョウゲンボウ	主産地 2箇所	伴野・鳴瀬	—	S53.2.1
164	天然記念物	お神明の三本松	1本	上小田切	上小田切西区	S47.5.5
165	天然記念物	入沢風穴	1箇所	入 沢	個人	S48.3.10
166	天然記念物	黒沢家 コナラ	1本	湯 原	個人	H16.3.5
167	天然記念物	児落場峠天然カラマツ	1本	入 沢	佐久市	H16.3.5
168	天然記念物	関所破りの桜	1本	甲	個人	S44.5.15
169	天然記念物	勝手神社のケヤキの木	1本	御馬寄	勝手神社	H15.10.30
170	天然記念物	山の神のコナラ群	1群	春 日	春日財産区	H9.3.14
171	天然記念物	小野山家のエドヒガン	1本	春 日	個人	H9.3.14
172	天然記念物	蓮華寺のスキ	1本	春 日	蓮華寺	H9.3.14
173	天然記念物	大井家のエドヒガン	1本	協 和	個人	H9.3.14
174	天然記念物	福王寺のヒヤラギ	1本	協 和	福王寺	H9.3.14

●国登録有形文化財一覧表

国登録	文化財名	名 称	員数	所在地	所有者又は継承者	指定年月日
1	建 造 物	武重本家酒造及び武重家住宅	30棟	茂田井	個人	H124.2.1
2	建 造 物	市川家住宅主屋と土蔵	2棟	中 込	個人	H17.6.17
3	建 造 物	佐藤家住宅伴部屋 他3棟	4棟	協 和	個人	H23.7.15

(1) 文化財保護審議会

■文化財保護審議会

(1) 令和4年5月24日(火)

ア 「藤ヶ城跡井戸」の市有形文化財指定について

- ・前回審議会において諮問をした「藤ヶ城跡井戸」の市有形文化財指定について、佐久市文化財保護条例第42条第3項の規定による採決を経て、指定が妥当であることが決定し、その旨の答申を受けることとなった。

イ 「八風山遺跡群出土品」について

- ・良質な「ガラス質黒色安山岩」の原産地である八風山遺跡群からの出土品の市有形文化財の指定に関する諮問と出土品の確認を行い、委員により次回審議会にまで補足資料等の提示も含めて検討いただくこととなった。

ウ 『田野口藩陣屋日記』の冊子刊行について

- ・前回審議会において委員から提起のあった現代では不適切な表現等への対応について、市の方針を提示し了承を得た。
- ・天保7年正月から6月までの刊行分については、現代では不適切な表現等はなかった旨を報告する。

エ 市名勝「皎月原」内への社祠台座設置予定に

ついて

- ・市名勝「皎月原」内に置かれている社祠について、地元区から台座の設置を希望する相談があり、了承した旨を報告する。
- オ 佐久市における古文書の管理の状況について
- ・前回審議会において委員から質問のあった佐久市における古文書の管理方法とともに、『佐久市志』等編纂時に収集した資料の複写の閲覧方法等について説明する。

(2) 令和5年1月20日(金)

ア 役員選出

- ・会長及び会長代理選出

イ 「八風山遺跡群出土品」の市有形文化財指定について

- ・前回審議会において諮問をした「八風山遺跡群出土品」の市有形文化財指定について、佐久市文化財保護条例第42条第3項の規定による採決を経て、指定が妥当であることが決定し、その旨の答申を受けることとなった。

ウ 重要無形民俗文化財「跡部の踊り念仏」のユネスコ無形文化遺産登録について

- ・令和4年11月30日に重要無形民俗文化財「跡

部の踊り念仏」を含む「風流踊」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことについて、登録までの経過と今後のイベント等について報告する。

- ・委員から「跡部の踊り念仏」をはじめとする無形民俗文化財の次世代への継承に向けての行政側の支援体制の構築について要望があった。

エ 史跡龍岡城跡保存整備事業の進捗状況について

- ・龍岡城跡に関連する建造物調査、堀浚濠工事、ガイダンス施設整備基本設計作成、石垣カルテ作成等の整備事業の進捗状況について報告する。
- ・委員から史跡整備の進捗状況の市民等への周知に関する要望があった。

オ 香坂山遺跡の調査状況について

- ・令和4年度に実施した遺跡範囲確認調査結果について報告する。
- ・委員から今後のガイダンス機能充実のための調査時のデジタルデータの重要性について助言があった。

明治8年12月25日	竣工
昭和41年1月27日	長野県宝指定
昭和44年3月12日	国重要文化財指定
昭和44年4月12日	国史跡指定
昭和46年8月1日	保存解体修理着手
昭和48年6月30日	保存解体修理終了
平成7年1月～12月	保存修理事業
平成25年11月～平成27年6月	防災修理整備事業
令和2年2月～令和3年1月	保存修理(災害復旧)事業

■概要 明治5年(1872)の学制発布に伴い下中込村、今井村、三河田村三村の組合立として、明治6年(1873)の9月に、小林寺を仮校舎に於て、「成知学校」が設立されました。

明治7年(1874)に校舎新築を決定、翌明治8年(1875)2月に建設位置を決定し用地買収を行い、同年4月に工事着手、同年12月に落成、同日移転開校しました。旧中込学校は我が国に現存する擬洋風学校としては、最も古い学校建築物のひとつです。

明治9年(1876)5月には校名を「第6学区区第17中学区第7番中込学校」と改称し、大正8年(1919)の新校舎建築まで使用され、その後は、昭和43年(1968)まで市役所分室などに転用されました。

建築費用(6,098円51銭8厘)は、ほとんどを村内全戸及び近隣の篤志者による寄付金でまかない、設計・建築は地元中込村出身で、明治2年(1869)から4年余り渡米して西洋建築を学んだと伝えられている市川代治郎に請負わせ、最新の洋式建築が取り入れられました。

中央の八角の塔の天井から太鼓を吊るして時を告げたことから「太鼓楼」、また、窓にガラスを使用したことから「ギヤマン学校」とも呼ばれ、当時は見学者が後を絶たなかったといわれています。

昭和41年(1966)に長野県宝、昭和44年(1969)には重要文化財及び国史跡の指定を受け、建築関係文書3点も附帯指定されています。

昭和46年(1971)から昭和48年(1973)まで解体復元工事、平成7年(1995)には保存修理工事、平成25年(2013)から平成27年(2015)まで防災修理工事を実施しました。また、令和元年東日本



「八風山遺跡群出土品」の確認

2 普及・公開

(1) 国史跡・重要文化財 旧中込学校及び資料館

- 位置 佐久市中込1877番地
- 電話 0267-62-7845 (管理事務所)
- 建物の歴史
明治8年4月20日 着工



旧中込学校付属資料館

台風により、外壁の一部崩落及び亀裂などの被害を受けたため、令和2年(2020)2月から令和3年(2021)1月まで災害復旧工事を実施しました。

■構造及び形式

木造二階建 寄棟造 妻入 棧瓦葺 八角塔屋付
本屋：間口7間(12.8m)、奥行11間(20.0m)、高さ5丈8尺(17.6m)、一階81坪(267.5㎡)、二階77坪(254.3㎡)

一階は玄関ポーチ、生徒控所、小使部屋、宿直室、第一教場、講堂がある。二階は前面にベランダを付し、中央に廊下をとり、両側に各三室を配している。

太鼓楼は八角、各辺1.06メートル、二階の中央階段から上がる。

■開館時間

4月～10月：9時から17時まで

11月～3月：9時から16時まで

■休館日

a 毎週月曜日

b 国民の祝日の翌日(祝日が月曜日のときはその翌日)

c 毎月第2火曜日(12月から2月までは毎週水曜日)

d 年末年始(12月29日から1月3日)

■観覧料

■旧中込学校・資料館年度別観覧者一覧

区分	一般		学生等			
	個人	団体 (20人以上)	大学生・高校生		中学生・小学生	
			個人	団体 (20人以上)	個人	団体 (20人以上)
観覧料	260円	200円	150円	120円	120円	100円

■旧中込学校の開校日に関連する無料公開

年度	公開 日数	一般	大学 高校生	中学 小学生	計	備考
平成29年度	308	5724	158	1691	7573	
平成30年度	309	5376	283	1406	7065	
令和元年度	284	4750	229	1440	6419	3/2から休館
令和2年度	261	2266	74	226	2566	4/8から6/1まで休館
令和3年度	288	2927	96	1034	4057	9/3から9/12まで休館
令和4年度	287	4322	84	993	5399	

令和3年9月25日(土)

旧中込学校の前身である成知学校の開校日(明治6年9月27日)にちなむ事業で、旧中込学校保存会との共催事業です。目的は、佐久市を代表する文化財(重要文化財・国史跡)である旧中込学校を多くの市民に知ってもらい、触れ、親しむ機会を提供することです。

旧中込学校・資料館の無料公開・太鼓楼の公開が行われました。

■資料館協議会

令和5年3月17日(金)

(1) 委嘱書交付

(2) 会長及び会長代理選出

(3) 会議事項

ア 資料館協議会の役割について

イ 旧中込学校竣工150周年記念事業について

ウ 佐久市公共施設等総合計画における資料館の方向性について

エ 入館者状況について

(2) ガソリンカー及び蒸気機関車(見学無料)

■旧中込学校付属資料館南隣りに公開展示

■ガソリンカー「キホハニ56号」

JR小海線の前身佐久鉄道で昭和5年から県下で



ガソリンカー・蒸気機関車

初めて使用され、第2次世界大戦まで活躍した。

■蒸気機関車「SL：C56 101号」

C56型蒸気機関車は、昭和10年にC12型の改良型として164両が製造され、全長14.3m、高さ3.9mで出力505馬力・最高速度75km/hの性能でした。小海線を走るC56型蒸気機関車は、昭和10年小海線全線開通とともに配置され、以後「高原のポニー（仔馬）」と呼ばれ人々に親しまれたが、昭和47年12月に鉄道よりその姿を消しました。

(3) 島崎藤村旧宅（前山 貞祥寺敷地内）

■概要 藤村（本名：春樹1872～1943）が、明治32年（1899）4月小諸義塾教師として小諸へ赴任してきてから明治38年（1905）4月同教師を辞するまでの6年間をこの家で過ごしました。この家は、大正9年（1920）、本間邸の一部として佐久市前山南に移転されましたが、藤村生誕100年を迎えた昭和47年（1972）、本間氏をはじめ小諸方面の理解と協力に基づき、昭和48年から49年に解体復元工事を行い、現在に至っています。

4月下旬から10月下旬まで一般公開しています。

■構造概要 木造茅葺平屋建35.5坪（117.3㎡）

■開館時間 10時から15時まで

■開館日 土（毎月第2土曜日を除く）・日・祝日、ゴールデンウィーク、お盆

■観覧料 無料

■島崎藤村旧宅年度別観覧者一覧

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
公開日数	68日	71日	51日	57日	60日
観覧者数	1,013人	1,113人	433人	690人	521人



藤村旧宅

(4) 国史跡 龍岡城跡

■位置 佐久市田口3000番地1外

■藩主 松平乗謙（大給 恒）

〔奥殿藩、文久3年田野口藩、慶応4年龍岡藩となる〕

〔慶応4年に「大給」、明治2年に「恒」と改名〕

■築城の概要 この城を築いたのは、大給松平氏最後の藩主松平乗謙であります。

乗謙の松平家は家康から5代前の親忠の時に分家した徳川氏の一族で大給松平氏といわれています。代々三河の奥殿（愛知県岡崎市）に本領を置き、奥殿に4千石の領地のほか、摂津、河内、丹波の3カ国に1万2千石を持っていました。宝永元年（1704）3カ国の1万2千石が信州佐久に移され、以来160年間、佐久には陣屋を置いて統治していました。

文久2年（1862）に、幕府は参勤交代制の緩和政策をとり、妻子を帰国させることにしました。当時の情勢は、薩長を中心とする幕府打倒の動きがあり、東海道を面した三河・奥殿藩のような小藩は、両勢力の対立の中では危険が多く、家族を国元に帰すには奥殿より佐久の方が安全であること等から信州への本領替えを決意しました。

文久3年（1863）本領替えの許可があり、新陣屋「五稜郭」は翌元治元年（1864）に着工し、足掛け4年、慶応3年（1867）に完成しました。

乗謙は学才識見ともにすぐれた藩主であり、幕府の陸軍奉行、老中格、陸軍総裁などの要職につきました。また、開国論者であり洋学に詳しく、練兵は他藩に先んじてフランス式を採用していました。

このため築城にあたっては、フランスのヴォーバン元帥が考案したといわれる星形稜堡の洋式築



龍岡城跡 お台所

城法で築城されました。石垣工事には、洋式築城の経験がある高遠藩から棟梁と石工60人を招きました。日本で最後に完成した城で、函館五稜郭とともに日本に二つしかない五つの角をもつ星形稜堡の洋式城郭となります。

明治4年(1871)の廃藩とともに新陣屋五稜郭の土地・建物はほとんど処分されました。

大広間、書院、東通用門、薬医門は買い取られて市内に残っています。

お台所は引き取り手がなく、明治5年(1872)の学制発布により、学校としての使用申請が認められなかったため、唯一の遺構として残されています。明治8年(1875)から学校として内部を改造して使用され、昭和4年(1929)現在地に移され、昭和35年(1960)から昭和36年(1961)にかけ半解体復元工事が行われました。

堀は、いつしか埋められ畑に変わり、桑の木が一面に植えられていましたが、昭和7年(1932)に堀をもう一度掘り起こそうと旧田口村の人たちが村を挙げて復元にとりかかり、昭和8年(1933)にもとの姿を取り戻し、翌昭和9年(1934)5月1日に国史跡に指定されました。

■築城の概要

総面積	20,175坪 (66,694㎡)
内城	5,640坪 (18,645㎡)
外城	14,535坪 (48,049㎡)
堀幅	4間 (7.27m)
	大手門前 5間 (9.09m)
土塁	高さ 7尺5寸 (2.27m)
	巾 4間 (7.27m)
周囲堀	長さ 375間 (682m)
	深さ 1丈2尺 (3.64m)
総費用	4万円余
普請奉行	家老 出井勘之進

■龍岡城跡保存管理計画の推進

平成23～24年度に策定した「史跡龍岡城跡保存管理計画書」の方針に基づき、関係機関との協議を行いながら、石垣や土塁等の建造物の保存管理、修理に努めています。

■龍岡城跡保存整備事業の推進

令和元年～2年度に策定した「史跡龍岡城跡整

備基本計画」の方針に基づき、史跡内の整備及び関連調査を進めています。

- 令和3年度
 - ・樹木診断調査
 - ・堀浚渫工事基本設計
- 令和4年度
 - ・石垣カルテ
 - ・堀浚渫工事(トレンチ調査を含む)【第1工区】
 - ・五稜郭「であいの館」増築工事等基本設計
 - ・五稜郭「であいの館」増築工事設計に係る地質調査
 - ・「枳形」遺構確認調査
 - ・建造物調査(正殿【大広間】・東通用門・薬医門・お台所)

■龍岡城跡保存整備委員会

- (1) 令和4年5月20日(金)
 - ア 委嘱書交付
 - イ 会長及び副会長の選出
 - ウ 会議事項
 - (ア) 堀浚渫工事について
 - (イ) 石垣カルテの作成について
 - (ウ) 建造物調査について
 - (エ) 「であいの館」機能拡充整備について
 - エ 現地視察
- (2) 令和5年3月22日(水)
 - ア 会議事項
 - (ア) 田口小学校の解体・撤去について
 - (イ) 「であいの館」機能拡充整備に係る基本設計について
 - (ウ) 令和4年度事業報告及び令和5年度実施予定事業について
 - イ 現地視察

■大給恒顕彰委員会

- (1) 委員会の位置づけ

「龍岡城跡整備基本計画」の策定にあたり、龍岡城の築城主であり、「佐久の先人」にも選定されている大給恒公を顕彰し、その功績を後世に伝えることを目的とし、大給恒公の生涯と功績及び顕彰展示の内容について令和元年度から検討しています。
- (2) 委員会：令和4年7月22日(金)
 - ア 委嘱書交付

- イ 委員長及び副委員長の選出
- ウ 会議事項
 - (ア) 大給恒の年譜の確認について
 - (イ) 展示施設の整備構想について
 - (ウ) 大給恒関連資料の所在調査報告について

時を」の配信による周知を図るとともに、旧中込学校等の文化財における写真撮影会等の誘致により文化財の活用を図っていきます。

(6) 撮影・掲載

文化財の撮影・掲載（放映を含む）は、旧中込学校、龍岡城を中心に40件ありました。

(5) 動画等による周知及び活用

市内文化財を紹介した動画「歴史の中で美しい

令和4年度 文化財 撮影・掲載一覧表(1)

資料名	申請者	目的	期間
島崎藤村旧宅外観・書斎写真	合同会社ミカブックス	エクスナレッジ発行『文豪の家』（2013年初版）の改訂版に掲載するため。	-
龍岡城跡空撮写真1点	株式会社シグレゴコチ	令和4年8月出版の『DVD付学習まんがNEW日本の歴史』シリーズの『人物学習事典』、『文化遺産学習事典』の付録映像に収録するため。	-
龍岡城跡撮影	プティ・スタジオ・ミストラル	和装によるフォトウェディングの撮影のため。	令和4年5月18日撮影
旧大沢小学校写真1点	株式会社発行新聞新社	令和4年6月1日発行の『旬刊発行新聞 信州特集』に掲載するため。	-
『佐久市の文化財』掲載の 龍岡城跡空撮写真1点 平賀氏城跡写真1点 岩尾城跡写真1点 野村城跡写真1点	ユーエム・サクシード株式会社	スマートフォン向けスタンプラリー・城郭情報アプリ「ニッポン城めぐり」に掲載するため。	-
島崎藤村旧宅撮影	NHK長野放送局	NHK長野放送「時を越えて！語る文豪・島崎藤村の世界」の撮影のため。	令和4年5月16日撮影 令和4年6月25日放送
旧中込学校撮影	佐久ケーブルテレビ株式会社	令和4年6月7日から7月4日放送の佐久ケーブルテレビ番組「信広場」の撮影のため。	令和4年5月19日撮影
旧中込学校撮影	長野トヨタチューカーボックス佐久店	ホームページ内のブログに掲載するため。	令和4年5月17日撮影
『佐久市志』所収『熊本県色遣行上人縁起帖』（第二巻第6・7巻の写真1点	株式会社アイク	令和4年7月21日発行『週刊さくいだいら』の特集『佐久平の鎌倉時代』に掲載するため。	令和4年7月21日発行
龍岡城跡写真1点	遠州鉄道株式会社	企画ツアーのコース紹介に使用するため。	-
稲田養徳の邸写真1点	株式会社日テレアクセスオン	令和4年7月30日放送の日本テレビ「億3000万人のSHOWチャンネル」で使用するため。	令和4年7月30日放送予定
旧大沢小学校建築関係資料撮影	株式会社竹花組	令和4年12月刊行予定『竹花組100周年記念誌』に掲載するため。	令和4年7月28日撮影
旧中込学校撮影	テレビ朝日映像株式会社	令和4年9月10日放送の「人生の楽園」撮影のため。	令和4年7月25日撮影
稲田養徳の邸写真1点	株式会社ジャパネットブロードキャストイング	令和4年8月23日放送予定のBSジャパン放送「林三平のおきらく旅」において使用するため。	-
旧大沢小学校撮影	佐久ケーブルテレビ株式会社	ニュース番組「さくいち」内で大沢小学校一般公開の様子を紹介するため。	令和4年8月14日撮影
旧大沢小学校撮影	佐久ケーブルテレビ株式会社	令和4年9月6日から10月3日放送の佐久ケーブルテレビ番組「信広場」の撮影のため。	令和4年8月31日撮影
『佐久市志』所収『熊本県色遣行上人縁起帖』（第二巻第6・7巻の写真	公益財団法人長野県長寿社会開発センター佐久支部	令和4年9月17日開催の信州むんりんビュウのトークセッション「未来へつなごうー豊かな風土と伝統文化ー」における「節節の語り念仏」の紹介に使用するため。	-
龍岡城跡撮影	北海道新聞東京支社	令和4年度閉校の山口小学校を北海道新聞で紹介する取材のため（運動会及び校舎風景のドローン撮影）。	令和4年9月17日撮影
旧中込学校校舎写真1点	株式会社アマナイメーجز カスタマーサービス部	令和4年12月配信開始の『探検日本新幹線プロモーションアプリ「どここかにびゅーん」における各新幹線主要駅の観光名所紹介に使用するため。	-
国重要無形民俗文化財部品の語り念仏写真1点	読売新聞佐久通信部	令和4年11月2日付読売新聞のユネスコ無形文化遺産への登録動向に関する記事に掲載するため。	-
龍岡城跡撮影	株式会社テレビ信州	令和4年11月15日放送のテレビ信州番組「ゆうがたGet!」の特集「タイムスリップ信州」における国史跡龍岡城跡及び山口小学校紹介映像の撮影のため。	令和4年11月7日撮影
国重要無形民俗文化財部品の語り念仏写真1点	朝日新聞長野支局	令和4年11月下旬のユネスコ無形文化遺産への登録に際して朝日新聞地方版の記事に掲載するため。	-

●令和4年度 文化財 撮影・掲載一覧表(2)

資料名	申請者	目的	期間
田中込学校撮影	平凡社編集二課	令和5年1月25日発行予定の東日本旅客鉄道株式会社旅行会員誌「大人の休日倶楽部」における特集に掲載するため。	令和4年11月19日撮影
田中込学校撮影	佐久ケーブルテレビ株式会社	佐久ケーブルテレビ番組「SAKIいち」の撮影のため。	令和4年11月21日撮影
田中込学校撮影	信濃毎日新聞読者センター	令和5年1月発行予定の「信濃こども新聞」における学制公布150年関連記事に掲載するため。	令和4年11月24日撮影
田中込学校撮影	株式会社テレビ信州	学制公布150年記念中込小学校5年竹組特別授業の様子をニュース番組で放送するため。	令和4年11月21日撮影
田中込学校撮影	読売新聞佐久通信部	学制公布150年記念中込小学校5年竹組特別授業の様子の記事に掲載。	令和4年11月21日撮影
田中込学校撮影	長野朝日放送	学制公布150年記念中込小学校5年竹組特別授業の様子をニュース番組で放送するため。	令和4年11月21日撮影
田中込学校撮影	信越放送	学制公布150年記念中込小学校5年竹組特別授業の様子をニュース番組で放送するため。	令和4年11月21日撮影
田中込学校撮影	信濃毎日新聞	学制公布150年記念中込小学校5年竹組特別授業の取材のため。	令和4年11月21日撮影
龍岡城跡撮影	テレビ朝日 第2製作部	令和5年1月以降放送のテレビ朝日番組「ナニコレ珍百景」における放送のためのドローン撮影。	令和4年12月2日撮影
岩村田新築分間蔵図写真1点 市有彫文化財(蔵)城跡井戸写真1点	エム・シー・シーオフィス	令和4年12月刊行の小林政喜『写真が語る「佐久の激動」(船)』に掲載するため。	—
田中込学校校舎写真3点	株式会社東日本びゅうツーリズム&セールスエスコート商品部	令和5年1月末発行のJ東日本「大人の休日倶楽部」会員誌及びWEBサイト「日本の旅 鉄道の旅」などに掲載するため。	—
大船畑の月像写真1点	有限会社オフィス・イデオム	令和5年1月発行予定の『学研まんがでよくわかるシリーズ 青少年赤十字のひみつ』（電子書籍における使用も含む）に掲載するため。	—
田中込学校校舎写真1点	株式会社三越伊勢丹ニココトラベル	令和5年2月発行の「三越伊勢丹ニココトラベルバスの旅」のツアーパンフレットに掲載するため。	—
龍岡城跡撮影	SBC信越放送	令和5年2月3日放送のSBC信越放送番組「すぐだせテレビ」の特集「御朱印おみくじ旅」における国史跡龍岡城跡の紹介映像の撮影のため。	令和5年1月25日撮影
田中込学校校舎写真4点	有限会社エディットセブン	令和5年3月発行の全国市長会『市政』内コーナー「とっておき!美しい都市の景観」に掲載するため。	—
龍岡城跡撮影	読売新聞東京本社デジタル編集部	令和5年3月下旬配信予定の読売新聞オンラインの記事に掲載するため。	令和5年3月13日撮影
龍岡城跡空撮写真1点	読売新聞東京本社デジタル編集部	令和5年3月下旬配信の読売新聞オンラインの記事に掲載するため。	—
龍岡城跡撮影	北海道新聞社	閉校前後の卒業式に際する田中込小学校校舎風景のドローン撮影。	令和5年3月11日撮影

II 文化財調査事業

1 保護・保存（記録保存）

(1) 方針

国民共有の財産であると同時に、地域の歴史と文化に根ざした歴史的遺産である埋蔵文化財の保護・保存及び調査・研究を行い、その成果を出土品の展示や説明会等を通じて広く公開することにより、市民の文化財に対する理解を深めるとともに、文化財愛護精神の高揚を図ります。

(2) 状況

埋蔵文化財は、文化財保護法で「土地に埋蔵されている文化財」と定義されています。

- | | |
|-------------|-------|
| ①集落址、遺物散布地等 | 855箇所 |
| ②城館跡 | 96箇所 |
| ③古墳、横穴、塚 | 221箇所 |

の合計1,172箇所の遺跡を数えているが、これは平坦部のみで、今後も山間部や水田下等から新たに遺跡が発見される可能性があります。

(3) 実施概要

■埋蔵文化財調査

受託事業16件（No1～9、11～15、17・18）、市関係事業1件（No16）、県関係事業1件（No10）の他、国庫補助事業として試掘確認調査108件（内3件は本調査実施）・工事立会305件（No19）、史跡整備・指定に伴う学術調査3件（No20～22）、出土木器保存処理57点（No23）を実施しました。

■展示

(1) 文化振興課文化財事務所「考古遺物展示室」

駒場事務所移転に伴い新設されました。市内の各遺跡より出土した旧石器時代から古代までの主な出土品を常設展示。

開館時間：9時～17時

休館日：土・日、祝日

入館料：無料

ア 第5回特別展「石槍」

- ・「八風山遺跡群出土品」の市有形文化財指定を



展示室見学者数の推移

年度	市内	県内	県外	国外	計
平成30年度	979	168	272	21	1,440
令和元年度	545	90	91	1	727
令和2年度	210	84	60	0	354
令和3年度	376	157	70	0	603
令和4年度	234	92	71	2	399

記念した、八風山遺跡群の石槍製作技術に関連した企画展。

期間 令和4年2月3日～5月8日

(2) 白田文化センター

展示替えにより、北西の久保古墳17号墳出土埴輪の一部を駒場事務所考古遺物展示室に移動し、代わりに市内出土の須恵器（奈良・平安時代）を展示。昨年度に引き続き、近津区画整理事業に伴う発掘調査により出土した弥生土器、和同開珎等、白田地域からの出土品を常設展示。

休館日：月・火、祝日の翌日

入館料：無料

(3) 佐久平浅間小学校

校舎新築に伴う発掘調査による出土品の一部を図書館に常設展示。

(4) 岩村田小学校

校舎新築に伴う発掘調査による出土品の一部を図書館に常設展示。

(4) 刊行図書

- 第291集「宮の前遺跡Ⅲ」
- 第292集「一ツ長田遺跡Ⅰ」
- 第293集「藤ヶ城跡」
- 第295集「西近津遺跡ⅩⅥ」
- 第296集「野馬久保遺跡Ⅲ」
- 第297集「市内遺跡2021」
- 第298集「小山崎遺跡」
- 第299集「西近津遺跡ⅩⅦ」



考古学教室 火起こし体験

佐久市文化財「年報31」

佐久市文化財情報 令和3年度

考古遺物展示室 第5回特別展チラシ

(5) 出土遺物保存処理・自然科学分析

●国補埋蔵文化財出土遺物保存処理

寺家遺跡・西八日町遺跡出土木器 57点

2 普及・公開

(1) 第43回こども考古学教室

開催場所 文化財事務所

開催日 令和4年8月20日(土)、21日(日)

参加者 63名

●令和4年度 歴史講座一覧表

期 日	主催者	内 容	参加者
令和4年7月23日(土)	文化振興課 望月歴史民俗資料館	望月歴史民俗資料館口座 「戦国時代の城—望月地区—」	31名
令和4年7月24日(日)	生涯学習課 青少年係	佐久市ジュニアリーダー研修 第4回 郷土学習 —佐久地方の自然や人々の生活の歴史に学ぶ—	28名
令和4年10月6日(木)	野沢中学校	野沢中学校 令和4年 ふると学習(体験学習) 「佐久の年表を作ってみよう!」	19名
令和4年10月11日(金)	東公民館	東公民館ふれあい学級「歴史講座」 「知られざる 堅城五本松城跡—意外な規模と断崖の城—」	15名
令和4年10月15日(土)	佐久市観光協会・東支部	平尾山登山道整備、平尾城跡PRの事前学習講座 戦国を生き抜いた平尾城	8名
令和2年11月17日(火)	文化振興課 文化財事務所	歴史講座「佐久三万年の歴史 中世(鎌倉・室町時代) 中世寺院」	14名
令和3年2月25日(木)	文化振興課 文化財事務所	歴史講座「佐久三万年の歴史 戦国時代) 城郭」	15名

●令和4年度 埋蔵文化財 貸出・撮影・掲載一覧表

資料名	申請者	目 的	期 間
大豆田遺跡N出土資料19点	佐久平浅間小学校	学校建設時に発見された考古資料を学習に活用するため。	2023年4月1日～ 2024年3月31日
藤ヶ城跡出土資料11点	岩村田小学校	図書館内に展示することにより、郷土の文化財にたいして愛護の心を育てるため。	2023年4月1日～ 2024年3月31日
松の木遺跡1・II H18号住居址写真2点	宮崎県立西都原考古博物館	令和4年度 宮崎県西都原考古博物館国際交流展での資料紹介。	—
西近津遺跡跡及び北西ノ久保古墳跡写真6点	小海町教育委員会	「小海町志 古代・中世編」への掲載。	—
高山遺跡1・II出土遺物7点 聖原遺跡出土H560住居址土土鉄鏝1点	御代田町教育委員会	2022年秋季企画展「平安時代は平安ではなかった」への展示。	2023年9月13日～ 2023年12月9日
八風山II遺跡出土石槌接合資料写真6点	佐久市立博物館	諏訪市博物館ミニギャラリー展「生誕90年・没後10年 考古学者 戸沢允胤」におけるパネル展示に使用。	2023年9月9日～ 2023年10月23日
聖原遺跡出土仏鉢形土器写真、実照図	株式会社 八木書店出版部	「聖土器と文字瓦—出土文字資料の研究—」に掲載するため。	—
西近津遺跡出土資料8展	佐久穂町教育委員会	企画展「縄文の石神 佐久の石神展」に展示するため。	2024年3月1日～ 2024年4月30日

内 容 考古遺物展示室見学

勾玉づくり

火起こし体験

(2) 講座

・歴史講座

公民館等各種団体からの要請により、市内で行った発掘調査の成果を中心とした歴史講座を開催しました。実施回数5回、延べ参加者数165名でした。

(3) 貸出・掲載

市内遺跡出土の埋蔵文化財資料の貸出、掲載は8件ありました。

●令和4年度 埋蔵文化財調査一覧表

No	遺跡名	調査面積	所在地	開発事業	調査概要	報告書
1	小山崎遺跡		下小田切	小学校建設	縄文、弥生、平安、中世の集落址	第298集
2	一ツ長田遺跡		長土呂	宅地造成		第292集
3	西近津遺跡XVI		長土呂	宅地造成	縄文、古墳、平安、中世の集落址	第295集
4	南上中原遺跡III		長土呂	宅地造成		第299集
5	西近津遺跡XVII		長土呂	宅地造成	縄文、古墳、平安、中世の集落址	第299集
6	宮の前遺跡III		岩村田	宅地造成		弥生時代の集落址
7	北上中原遺跡III	500㎡	小田井	宅地造成	第296集	
8	野馬久保遺跡III	224㎡	猿久保	宅地造成		
9	若宮遺跡VI	2,200㎡	長土呂	宅地造成	第296集	
10	志賀神明の木遺跡II	500㎡	志賀	道路改築		
11	金山遺跡		跡部	店舗新築	本誌掲載	
12	根々井居屋敷遺跡II	134㎡	根々井	事務所建築		
13	根々井居屋敷遺跡III	200㎡	根々井	宅地造成	本誌掲載	
14	反田遺跡II	60㎡	下小田切	宅地造成		
15	岩村田遺跡群	250㎡	岩村田	集合住宅建築	後期古墳と古墳時代の集落址	本誌掲載
16	豊畑遺跡	935㎡	鳴瀬	橋梁架替工事		本誌掲載
17	西芝間遺跡		岩村田	集合住宅建築	本誌掲載	
18	厄家遺跡	81㎡	塚原	宅地造成		本誌掲載
19	市内遺跡発掘調査		市内一円	開発事業に先立つ試掘確認調査 108件、工事立会 305件		
20	史跡龍岡城跡	32㎡	田口	「史跡龍岡城跡整備基本計画」に伴う「石垣カルテ」作成のための堀濠溝に先立つ発掘調査		
21	史跡龍岡城跡櫓形	20㎡	田口	「史跡龍岡城跡整備基本計画」に伴う櫓形の詳細調査		
22	香坂山遺跡			史跡指定に向けた遺跡範囲確認調査		
23	出土遺物保存処理			木器 57点		

●令和4年度 市内遺跡発掘調査一覧表（試掘1）

No	遺跡名	所在地	開発主体者	開発事業名	調査面積 (㎡)	開発面積 (㎡)	保護 措置	調査期間
1	野沢城跡	野沢	南平和住宅	宅地造成工事	170.00	897.00	試掘	R3.12.29-24、R4.1.7-8、4.18
2	家裏遺跡	甲	佐久市（区市支所）	道路改良工事	100.00	2,861.00	試掘	R3.7.2、R4.3.1-4.11-12
3	野沢城跡他	野沢	佐久市（都市計画課）	道路改良工事	1,200.00	25,400.00	試掘	R2.12.14、R3.8.4、R4.1.11
4	古道遺跡	望月	個人	太陽光発電施設建設工事	100.00	2,447.85	試掘	R4.5.9-10
5	細久保城跡	矢島	藤巻水力発電所	小水力発電所設置	16.00	5,095.00	試掘	R4.8.17-26
6	宮浦遺跡群	桜井	個人	個人住宅建築工事	23.00	162.17	試掘	R3.11-8、R4.5-10
7	周防畑遺跡群	長土呂	J A 佐久連関㈱/ナツ	宅地造成工事	420.00	4,635.03	試掘	R4.4.20-21-25
8	岩村田遺跡群	岩村田	南平和住宅	宅地造成工事	230.00	2,789.00	試掘	R4.3.30-31、5.9-10
9	上平遺跡群	鳴瀬	個人	個人住宅建築工事	28.00	470.79	試掘	R4.1.24-4.18
10	枇杷坂遺跡群	岩村田	個人	個人住宅建築工事	28.45	527.10	試掘	R4.4.18
11	西近津遺跡群	長土呂	南新日本興発	賃貸住宅建築工事	14.00	182.54	試掘	R4.5.11
12	西近津遺跡群	長土呂	南新日本興発	賃貸住宅建築工事	7.00	162.62	試掘	R4.5.11
13	西近津遺跡群	長土呂	南新日本興発	賃貸住宅建築工事	5.00	155.26	試掘	R4.4.5-5.11
14	岩村田遺跡群	岩村田	個人	個人住宅建築工事	130.00	294.31	試掘	R4.6.20-27
15	棚間原遺跡・栗/木遺跡	下小田切	南石井商事	宅地造成工事	150.00	2,109.50	試掘	R4.4.1-5-11-15
16	家裏遺跡	甲	個人	個人住宅建築工事	63.00	321.78	試掘	R4.4.5
17	原遺跡	白田	個人	個人住宅建築工事	60.00	335.95	試掘	R4.4.26
18	東大久保遺跡群	下平尾	個人	個人住宅建築工事	30.00	596.65	試掘	R4.3.29-4.14
19	五庵遺跡・龍岡城跡	鳴瀬	佐久市（道路建設課）	道路改良工事	70.00	5,993.00	試掘	R4.10.26-28、11.14-15
20	豊畑遺跡群、下北古厩遺跡	田口	佐久市（道路建設課）	橋梁架け替え	150.00	3,281.00	試掘 本誌掲載	R4.4.5-10
21	番屋前遺跡群	猿久保	昭和電機産業㈱	事務所兼倉庫建築工事	516.00	1,041.03	試掘	R4.1.11
22	蛇塚遺跡群	新子田	個人	賃貸住宅建築工事	23.00	394.12	試掘	R4.4.6
23	西近津遺跡群	常田	個人	集合住宅建築工事	45.00	866.00	試掘	R4.4.25-26

令和4年度 市内遺跡発掘調査一覧表(試掘2)

No	遺跡名	所在地	開発主体者	開発事業名	調査面積 (㎡)	開発面積 (㎡)	保護 措置	調査期間
24	宮の上遺跡群	横和	個人	個人住宅建築工事	30.00	886.00	試掘	RA.4.21-5.30
25	蛇塚遺跡群	猿久保	新築栄興興	宅地造成工事	123.00	1,513.76	試掘 本調査	RA.4.27
26	大井城跡	岩村田	個人	個人住宅建築工事	652.57	25.00	試掘	RA.5.16
27	機名平遺跡群	根岸	精工スゴワ・ル	フロント・フロント・警備機器	42,937.96	340.00	試掘	RA.4.21-22-26
28	志賀神明の木遺跡	志賀	個人	建築修理工事	216.47	60.00	試掘	RA.5.10
29	金山遺跡	跡部	高スリのアオキ	店舗建築工事	3,166.81	414.00	試掘 本調査	RA.7.4-7
30	大堰遺跡	大沢	個人	個人住宅建築工事	242.00	28.00	試掘	RA.7.1-7-11.29
31	枇杷坂遺跡群	佐久平駅南	大井建設工業㈱	展示場建築	1,399.50	53.00	試掘	RA.7.1-7
32	横敷遺跡	安原	南創意地所	宅地造成工事	1,572.44	43.00	試掘	RA.5.18-19
33	望月城跡	布施	佐久市(公園緑地課)	複合遊具更新	200.00	120.00	試掘	RA.10.11
34	十二前遺跡	上平尾	山岡照明	個人住宅建築工事	887.67	28.00	試掘	RA.5.30
35	野沢城跡	野沢	個人	個人住宅建築工事	294.61	40.00	試掘	RA.8.31
36	金井遺跡・春日城跡	春日	伊予藤木村	資材置き場造成工事	915.00	90.00	試掘	RA.5.31-6.27~30-8.24
37	東村遺跡群	下平尾	個人	個人住宅建築工事	567.12	30.00	試掘	RA.6.17-7.25
38	岩村田遺跡群	岩村田	個人	個人住宅建築工事	540.18	12.00	試掘	RA.6.9-10
39	石附遺跡	根岸	個人	個人住宅建築工事	443.45	3.00	試掘	RA.11.22
40	東千石平遺跡群	瀬戸	個人	個人住宅建築工事	430.63	16.00	試掘 本調査	RA.6.3
41	深堀遺跡群	瀬戸	個人	個人住宅建築工事	497.21	30.00	試掘	RA.6.17
42	志賀神明の木遺跡	志賀	個人	井戸掘削工事	2.00	2.00	試掘	RA.7.5
43	岩村田遺跡群	岩村田	個人	個人住宅建築工事	256.39	75.00	試掘	RA.6.8
44	根々井居屋敷遺跡	根々井	個人	新社屋建築工事	466.00	43.00	試掘 本調査	RA.6.10-11
45	岩村田遺跡群	岩村田	個人	戸建住宅(賃貸)	171.67	4.80	試掘	RA.6.10
46	大和田屋敷遺跡群	鳴瀬	個人	個人住宅建築工事	186.00	26.00	試掘	RA.2.17-7.11
47	塚原屋敷添遺跡	平塚	新公海ハウジング	宅地造成工事	690.00	200.00	試掘	RA.6.9-29
48	根々井居屋敷遺跡	根々井	海平和住宅	宅地造成工事	1,965.00	48.00	試掘 本調査	RA.9.1
49	高呂遺跡	協和	佐久市(公園緑地課)	墓塚の地割 供養墓建立	30.00	18.00	試掘	RA.9.14
50	西近津遺跡群	長士呂	個人	個人住宅建築工事	312.33	100.00	試掘	RA.7.27~8.4-9.30
51	岩村田遺跡群	岩村田	南あいうえ不動産	集合住宅建築工事	2,531.76	340.00	試掘 本調査	RA.7.6~8
52	戸坂遺跡群	新子田	個人	個人住宅建築工事	309.58	30.00	試掘	RA.6.28
53	筒畑遺跡群	新子田	個人	個人住宅建築工事	339.51	3.00	試掘	RA.6.17
54	西近津遺跡群	瀬戸	個人	個人住宅建築工事	430.63	16.00	試掘 本調査	RA.6.3
55	大堰遺跡	前山	個人	個人住宅建築工事	330.00	100.00	試掘	RA.9.6-21
56	機名平遺跡群	根岸	佐久市(公園緑地課)	公園整備 野鳥・ヘビ	20.00	36.00	試掘	RA.9.15~20
57	宮の上遺跡群	横和	個人	個人住宅建築工事	233.24	16.00	試掘	RA.8.8
58	小山崎遺跡群	下小田切	南堀内組	住宅団地造成	1,871.27	190.00	試掘	RA.8.9-10
59	日影遺跡	下小田切	高石井商事	宅地造成工事	3,358.65	184.00	試掘	RS.1.16~18
60	前田遺跡群	塚原	高山理化精機㈱	事務所建築及び解体	724.78	75.60	試掘	RS.3.9
61	塚原屋敷添遺跡	平塚	長野県佐久建設事務所	県単道路改築工事	1,300.00	12.00	試掘	RA.12.15
62	宮の前遺跡	下平尾	個人	個人住宅建築工事	307.91	25.00	試掘	RA.6.8
63	西赤座遺跡	岩村田	学校法人 聖啓学園	佐久長聖小学校新築工事	12,761.03	100.00	試掘	RS.3.14
64	家裏遺跡	甲	個人	個人住宅建築工事	453.88	36.00	試掘	RA.9.28

●令和4年度 市内遺跡発掘調査一覧表（試掘3）

No	遺跡名	所在地	開発主体者	開発事業名	調査面積 (㎡)	開発面積 (㎡)	保護 措置	調査期間
65	上砂田遺跡	岩村田	個人	個人住宅建築工事	219.41	4.10		R4.8.22~12.1
66	畑々入遺跡	春日	個人	個人住宅建築工事	545.71	70.00	試掘 本調査	R4.8.17~9.7
67	岩村田遺跡群	岩村田	在久市（公園緑地課）	公園整備 遊具・照明灯	50.00	11.00		R4.10.24、R5.3.6
68	蛇塚遺跡群	新子田	個人	進入路・個人住宅建築工事	1,122.00	125.00	試掘	R4.11.8-17-12.9-26
69	東大久保遺跡群	下平尾	個人	個人住宅建築工事	432.00	24.00	試掘	R4.8.5
70	深堀遺跡群	瀬戸	個人	個人住宅建築工事	272.52	3.80	試掘	R4.10.3
71	周防畑遺跡群	長土呂	個人	賃貸住宅建築工事	667.56	47.00	試掘	R4.10.11-19-25、R5.3.10
72	小金平遺跡	根岸	個人	個人住宅建築工事	165.29	9.00	試掘	R4.8.30-9.6
73	中西の久保遺跡群	岩村田	和公園ハウジング	宅地造成工事	960.00	30.00	試掘	R4.8.30
74	周防畑遺跡群	長土呂	南すえひろエンタープライズ	分譲住宅建築工事	691.00	9.00	試掘	R4.9.26
75	野沢城跡	原	在久市（観光課）	駐車場整備	1,410.00	6.50	試掘	R4.11.28
76	西近津遺跡群	長土呂	個人	個人住宅建築工事	228.18	30.00	試掘	R4.9.26、R5.1.20
77	西大久保遺跡群	下平尾	昭和不動産㈱	宅地造成工事	2,291.00	100.00	試掘	R4.10.6
78	善郷寺遺跡	春日	個人	個人住宅建築工事	450.32	77.00	試掘	R4.10.13
79	近津遺跡群	長土呂	共和ハウジング㈱	建売住宅建築工事	152.13	2.00	試掘	R5.1.30-31
80	休石遺跡	伴野	個人	個人住宅建築工事	657.15	28.00	試掘	R4.10.21
81	下前田原遺跡群	小田井	TDK ㈱	駐車場造成工事	2,050.00	44.00	試掘	R4.11.7
82	西妻神遺跡	根々井	㈱エンブラ	工場建築及び解体工事	5,686.48	200.00	試掘	R5.1.31
83	宮の脇遺跡	瀬戸	個人	個人住宅建築工事	588.03	16.00	試掘	R4.11.9
84	石田遺跡・志賀神社跡の南遺跡	志賀	長野県在久建設事務所	道路改良工事	4,600.00	67.70	試掘	R4.10.5-6.12.2
85	岩村田遺跡群	岩村田	金澤病院	病院新築工事	4,354.43	95.00	試掘	R4.10.19-20-12.19
86	脇坂南遺跡群	根岸	個人	個人住宅建築工事	364.60	30.00	試掘	R4.10.11、R5.2.27
87	栗毛坂遺跡群	岩村田	個人	集合住宅建築工事	2,194.41	250.00	試掘	R4.11.22-24-25
88	南裏遺跡	入沢	個人	個人住宅建築工事	510.82	55.00	試掘	R4.12.20
89	芝宮遺跡群	小田井	和田屋不動産	宅地造成工事	3,835.81	215.00	試掘	R5.1.10-11
90	野沢城跡	原	個人	個人住宅建築工事	488.49	30.00	試掘	R4.11.1
91	宮の上遺跡群	横和	個人	個人住宅建築工事	375.00	2.80	試掘	R4.11.7-25
92	戸屋敷遺跡群	安原	個人	個人住宅建築工事	330.57	20.00	試掘	R4.11.28、R5.1.5
93	寺畑遺跡群	猿久保	櫻山工業㈱	駐車場用水浸透施設設置工事	2,335.05	15.00	試掘	R4.11.21
94	金山遺跡・野沢城跡	野沢	個人	個人住宅建築工事	463.00	150.00	試掘	R5.2.22~3.2
95	大塚遺跡群	中込	和平和住宅	宅地造成工事	2,279.00	140.00	試掘	R4.12.21-22
96	上平遺跡群	鳴瀬	個人	個人住宅建築工事	336.26	3.10	試掘	R4.8.9-11.28
97	宮の上遺跡群	根々井	和田屋不動産	宅地造成工事	2,791.00	100.00	試掘 本調査	R5.1.12-13
98	西大久保遺跡群	下平尾	個人	集合住宅建築工事	741.00	78.00	試掘	R5.1.16-17
99	尼塚遺跡群	塚原	和中華和工務店	宅地造成工事	1,947.00	110.00	試掘	R5.1.10
100	社宮司遺跡	原	和平和住宅	宅地造成工事	1,718.00	80.00	試掘	R5.2.7-8
101	荒家遺跡	平賀	和フジヨシエステート	宅地造成工事	2,445.09	47.00	試掘	R5.2.10
102	深堀遺跡群	瀬戸	個人	個人住宅建築工事	490.78	18.00	試掘	R5.2.14
103	岩村田遺跡群	岩村田	南住匠	宅地造成工事	1,034.00	215.00	試掘	R5.2.24
104	岩村田遺跡群	岩村田	個人	個人住宅兼店舗建築	188.18	14.00	試掘	R5.2.6
105	芝宮遺跡群	長土呂	南土屋ホーム	宅地造成工事	989.00	70.00	試掘	R5.3.3

令和4年度 市内遺跡発掘調査一覧表(試掘4)

No	遺跡名	所在地	開発主体者	開発事業名	調査面積 (㎡)	開発面積 (㎡)	保護 措置	調査期間
106	西塚田遺跡	三分	個人	個人住宅建築工事	341.82	68.00	試掘	R5.1.12
107	戸坂遺跡群	新子田	個人	個人住宅建築工事	306.78	27.00	試掘	R4.11.8
108	尾塚遺跡群	塚原	個人	宅地造成工事	5.00	85.00	試掘 本調査	R4.4.19

令和4年度 市内遺跡発掘調査一覧表(立会1)

No	遺跡名	所在地	開発主体者	開発事業名	開発面積 (㎡)	保護 措置	調査期間
1	大塚遺跡群	中込	大塚建設㈱	事務所建築工事	1,174.43	立会	R4.5.20-6.7
2	豊畑遺跡、下北古置遺跡	鳴瀬	佐久市(道路建設課)	橋梁架替工事	200.00	立会	R4.6.13
3	常田屋敷敷遺跡群	塚原	興昌寺	墓地造成・駐車場整備	1,493.00	立会	R4.9.7
4	長土呂遺跡群	長土呂	妙ツツの2㈱	建売住宅建築工事	295.90	立会	R4.4.12
5	宮の上遺跡群	根々井	櫻山工業㈱	個人住宅建築工事	30,571.44	立会	R4.5.25
6	岩村田遺跡群	岩村田	小林健太郎	個人住宅建築工事	259.00	立会	R4.4.20
7	東五里田遺跡	野沢	妙ツツの2㈱	分譲住宅建築	212.20	立会	R4.5.6
8	東五里田遺跡	野沢	ホクシンハウス株式会社	分譲住宅建築	198.39	立会	R4.4.8
9	上砂田遺跡・松ノ木遺跡	岩村田	㈱カインズホーム	店舗建築工事	63,185.95	立会	R4.5.10
10	松の木遺跡	岩村田	佐久市(教育施設課)	学校増築工事	34,630.00	立会	R5.1.17
11	蛇塚遺跡群	新子田	掛川憲	個人住宅建築工事	309.75	立会	R4.6.13
12	野沢城跡	原	岩下敦子	個人住宅建築工事	390.83	立会	R4.4.11
13	柳峠遺跡	協和	白田広由	太陽光発電施設設置工事	1,928.00	立会	R4.5.6
14	上砂田遺跡	猿久保	佐久浅間農業協同組合	店舗建築工事	3,376.00	立会	R4.5.25
15	長土呂遺跡群	長土呂	㈱アイ設計	建売住宅建築工事	226.97	立会	R4.11.10
16	西大久保遺跡群他	岩村田	佐久水源企業団	水道管布設替	4,120.00	立会	R4.1.25
17	厩田遺跡	内山	原藤太	個人住宅建築工事	436.68	立会	R4.5.9
18	深堀遺跡群	瀬戸	小宮山昇	個人住宅建築工事	271.17	立会	R4.5.10
19	西近津遺跡群	長土呂	前田剛宏	個人住宅建築工事	253.28	立会	R4.4.28
20	大沢屋敷遺跡	大沢	楽天モバイル㈱	携帯基地局建築工事	4.00	立会	R4.6.16
21	深堀遺跡群	瀬戸	正木早太	個人住宅建築工事	355.50	立会	R4.4.5
22	根々井居屋敷遺跡群	根々井	市村陽	個人住宅建築工事	382.87	立会	R4.5.19
23	枇杷坂遺跡群	佐久平駅東	アィ/㈱	ホテル建築工事	1,503.86	立会	R4.6.1
24	平賀中屋敷遺跡群	平賀	吉村幸	個人住宅建築工事	267.22	立会	R4.4.6
25	西近津遺跡群	長土呂	岩木カ弘	個人住宅建築工事	209.20	立会	R4.4.8
26	岩村田遺跡群	岩村田	依田 竹葉	貸事務所建築工事	1,111.30	立会	R4.4.18
27	上向在家遺跡群	常和	豊島孝一	住宅解体工事	505.07	立会	R4.5.20-5.23
28	岩村田遺跡群	岩村田	高橋純子	個人住宅建築工事	308.47	立会	R4.3.25-4.25
29	平馬塚遺跡群・宮浦遺跡	桜井	長野都市ガス㈱	ガス管敷設工事	213.40	立会	R4.4.21
30	白拍子遺跡群	取出町	石川豊也・のみみ	個人住宅建築工事	329.81	立会	R4.4.15-22
31	近津遺跡群	長土呂	倉又直道	個人住宅建築工事	396.00	立会	R4.4.19
32	岩村田遺跡群	岩村田	荒井進夫	個人住宅建築工事	323.87	立会	R4.4.28
33	畑ヶ入遺跡	春日	高橋進	個人住宅解体工事	140.00	立会	R4.7.1
34	枇杷坂遺跡群	岩村田	楽天モバイル㈱	携帯基地局建築工事	352.00	立会	R4.5.27
35	藪澤遺跡	野沢	㈱土屋ホーム	建売住宅建築工事	327.83	立会	R4.4.15

●令和4年度 市内遺跡発掘調査一覧表（立会2）

No	遺跡名	所在地	開発主体者	開発事業名	開発面積 (㎡)	保護 措置	調査期間
36	東五里田遺跡群	野沢	小林勉矢	個人住宅建築工事	223.59	立会	R4.4.12
37	鳴澤遺跡群	根々井	大井健光	個人住宅建築工事	309.84	立会	R4.4.14
38	金井城跡	小田井	個人	個人住宅建築工事	350.00	立会	R4.8.1
39	野沢城跡	野沢	個人	個人住宅建築工事	300.43	立会	R4.7.1
40	長土呂遺跡群	長土呂	個人	個人住宅建築工事	472.44	立会	R4.5.20
41	岩村田遺跡群	岩村田	個人	個人住宅建築工事	189.14	立会	R4.6.14
42	西近津遺跡群	長土呂	個人	個人住宅建築工事	222.14	立会	R4.4.28
43	岩村田遺跡群	岩村田	共和のゾウ館	建売住宅建築工事	200.51	立会	R4.5.6
44	岩村田遺跡群	岩村田	共和のゾウ館	建売住宅建築工事	190.21	立会	R4.5.16
45	西一里塚遺跡群	平塚	セキスイハイム信越南	建売住宅建築工事	216.92	立会	R4.4.21-5.6
46	西一里塚遺跡群	平塚	セキスイハイム信越南	建売住宅建築工事	295.42	立会	R4.4.21-5.6
47	池端城跡	新子田	新栄開発	宅地造成工事	2,227.00	立会	R5.1.6
48	西一里塚遺跡群	平塚	個人	個人住宅建築工事	252.78	立会	R4.5.9
49	西浦遺跡群	本新町	長野都市ガス㈱	ガス管布設工事	25.90	立会	R4.4.23
50	東大久保遺跡群	上平尾	個人	焼燵・駐車場工事	78.00	立会	R4.4.25
51	久瀬添遺跡	太田部	個人	個人住宅建築工事	368.69	立会	R4.11.10
52	岩村田遺跡群	岩村田	個人	個人住宅建築工事	303.11	立会	R4.5.9
53	周防畑遺跡群	長土呂	個人	個人住宅建築工事	434.00	立会	R4.5.2
54	下泉屋敷遺跡群	伴野	個人	個人住宅建築工事	322.27	立会	R4.5.30
55	枇杷坂遺跡群	岩村田	(株) サンプロ	建物解体工事	546.64	立会	R4.5.9
56	岩村田遺跡群	岩村田	個人	個人住宅建築工事	231.72	立会	R4.4.25-26
57	家裏遺跡	甲	ミヤモリ不動産㈱	建売住宅建築工事	270.10	立会	R4.5.6
58	城平遺跡群	平賀	個人	個人住宅建築工事	323.33	立会	R4.6.8
59	芝宮遺跡群	小田井	個人	個人住宅建築工事	325.16	立会	R4.5.6
60	西近津遺跡群	長土呂	個人	個人住宅建築工事	333.00	立会	R4.6.16
61	周防畑遺跡群	長土呂	個人	個人住宅建築工事	374.77	立会	R4.5.12
62	西浦遺跡群	本新町	長野都市ガス㈱	ガス管布設工事	39.00	立会	R4.8.22
63	栗毛坂遺跡群	岩村田	個人	個人住宅建築工事	166.76	立会	R4.6.2
64	栗毛坂遺跡群	岩村田	個人	個人住宅建築工事	207.67	立会	R4.4.28
65	東大久保遺跡群	上平尾	個人	個人住宅建築工事	454.07	立会	R4.5.2
66	東内池遺跡	新子田	個人	個人住宅建築工事	308.81	立会	R4.5.20
67	西近津遺跡群	長土呂	JA 信久須間南アメック	建売住宅建築工事	248.66	立会	R4.5.30
68	深堀遺跡群	瀬戸	個人	個人住宅建築工事	274.50	立会	R4.6.1
69	大塚遺跡群	中込	個人	個人住宅建築工事	339.94	立会	R4.6.13
70	新町遺跡	中込	個人	個人住宅建築工事	358.46	立会	R4.6.17
71	中道遺跡群	野沢	南リアルト・ハ・ツ	下水道の敷設工事	493.00	立会	R4.8.22
72	月夜平遺跡	入沢	個人	個人住宅建築工事	529.58	立会	R4.6.14
73	中金井遺跡群	小田井	個人	個人住宅建築工事	815.40	立会	R4.7.8
74	岩村田遺跡群	岩村田	個人	個人住宅建築工事	308.98	立会	R4.5.25
75	上の山遺跡	小宮山	個人	個人住宅建築工事	310.91	立会	R4.5.24
76	本郷中北側遺跡	志賀	個人	個人住宅建築工事	137.68	立会	R4.5.24

令和4年度 市内遺跡発掘調査一覧表(立会3)

No	遺跡名	所在地	開発主体者	開発事業名	開発面積 (㎡)	保護 措置	調査期間
77	東千石平遺跡群	瀬戸	個人	個人住宅建築工事	491.00	立会	R4.6.13
78	中西の久保遺跡群	岩村田	学校法人佐久学園	学校附属小建建設工事	2,823.00	立会	R4.5.24
79	蛇塚遺跡群	安原	個人	個人住宅建築工事	270.63	立会	R4.5.26
80	梨の木遺跡	中込	個人	個人住宅建築工事	479.00	立会	R4.6.6
81	原遺跡	白田	個人	個人住宅建築工事	284.05	立会	R4.6.27
82	枇杷坂遺跡群	佐久平駅東	佐久市(都市開発室)	分電盤移設工事	11.00	立会	R4.6.13
83	戸坂遺跡群	新子田	佐久市(道路建設課)	道路改良工事	560.00	立会	R4.11.16
84	樺名平遺跡群	根岸	個人	個人住宅建築工事	286.78	立会	R4.7.15-12.7
85	下原屋敷遺跡群	伴野	個人	個人住宅建築工事	602.90	立会	R4.7.20-26
86	西近津遺跡群	長土呂	個人	個人住宅建築工事	266.11	立会	R4.6.7
87	岩村田遺跡群	岩村田	個人	個人住宅建築工事	205.88	立会	R4.6.10
88	大井城跡	岩村田	個人	個人住宅建築工事	269.66	立会	R4.6.9-17
89	極楽寺遺跡	望月	坂竹花組	建物解体工事、駐車場整備	1,082.56	立会	R4.6.30
90	枇杷坂遺跡群	佐久平駅東	セキスイハイム佐越㈱	モデルハウス建築	757.30	立会	R4.6.14
91	上砂田遺跡	岩村田	佐久市(都市開発室)	道路改良工事	22.00	立会	R4.7.26
92	根々井居屋敷遺跡	根々井	南平和住宅	解体及び撤去工事	1,965.00	立会	R4.7.29
93	大原遺跡	甲	個人	個人住宅建築工事	307.52	立会	R4.11.22
94	西近津遺跡群	長土呂	個人	個人住宅建築工事	292.83	立会	R4.6.8
95	上砂田遺跡	岩村田	くら寿町㈱	看板設置工事	2.10	立会	R4.7.22
96	砂原遺跡	塩名田	楽天モバイル㈱	携帯基地局建設工事	4.00	立会	R4.8.19
97	枇杷坂遺跡群	岩村田	個人	個人住宅建築工事	300.18	立会	R4.6.30
98	蛇塚遺跡	白田	個人	個人住宅建築工事	115.93	立会	R4.8.10
99	大塚遺跡群	中込	個人	個人住宅建築工事	433.18	立会	R4.8.8
100	枇杷坂遺跡群	佐久平駅東	㈱一栄工務店	住宅展示場建築工事	547.81	立会	R4.7.8
101	西大久保遺跡群	上平尾	個人	個人住宅建築工事	238.01	立会	R4.8.5
102	芝宮遺跡群	小田井	個人	個人住宅建築工事	248.83	立会	R4.7.14
103	長土呂遺跡群	長土呂	個人	建売住宅建築工事	202.33	立会	R4.11.10
104	前澤遺跡	野沢	個人	個人住宅建築工事	386.09	立会	R4.11.2
105	東五里田遺跡	野沢	個人	個人住宅建築工事	376.84	立会	R4.9.20
106	平賀中屋敷遺跡群	平賀	個人	個人住宅建築工事	536.00	立会	R4.9.1
107	枇杷坂遺跡群	佐久平駅東	長野都市ガス㈱	ガス管敷設工事	13.80	立会	R4.7.15
108	稲荷山城跡	勝間	佐久市(公園緑地課)	遊具等の更新	40.00	立会	R4.8.19、R5.2.6
109	宮の上遺跡群	根々井	個人	個人住宅建築工事	442.00	立会	R4.8.2
110	岩村田遺跡群	岩村田	個人	個人住宅建築工事	234.25	立会	R4.7.12
111	権現山遺跡群	矢島	佐久市(道路建設課)	道路改良工事	6.00	立会	R4.6.21
112	志賀神明の木遺跡	志賀	佐久水道企業団	消火栓移設	3.00	立会	R4.10.13
113	中塚遺跡	平賀	㈱大井	社屋新築工事に伴う遺跡試験	1,448.00	立会	R4.9.9
114	中道遺跡群	前山	個人	個人住宅建築工事	414.73	立会	R4.7.14
115	原遺跡	白田	長野都市ガス㈱	ガス管敷設工事	137.00	立会	R4.9.26
116	野沢城跡	野沢	㈱スタイルテック総合計画	建売住宅建築工事	229.56	立会	R4.7.28
117	猫久保遺跡群	安原	個人	個人住宅建築工事	245.18	立会	R4.8.23

令和4年度 市内遺跡発掘調査一覧表(立会4)

	遺跡名	所在地	開発主体者	開発事業名	開発面積 (㎡)	保護 措置	調査期間
118	地家遺跡	前山	個人	個人住宅建築工事	1,864.58	立会	R4.8.5
119	岩井堂遺跡	岩村田	個人	個人住宅建築工事	242.45	立会	R4.8.9
120	藤ヶ城跡	岩村田	個人	個人住宅建築工事	252.14	立会	R4.7.19-8.9
121	香坂屋敷遺跡	香坂	楽天モバイル㈱	携帯基地局建築工事	2.25	立会	R4.7.22
122	宮の上遺跡群	根々井	新築家住宅	建築住宅建築工事	270.64	立会	R4.7.19
123	龍岡城跡	田口	佐久市(土木課)	カープミラー補修工事	1.00	立会	R4.7.14
124	粟毛坂遺跡群	岩村田	㈱/シ/まるハウス	建築住宅建築工事	166.74	立会	R4.11.28
125	岩村田遺跡群	岩村田	個人	個人住宅建築工事	188.42	立会	R4.7.13
126	志賀神明の木遺跡	志賀	東日本電信電話㈱	電柱移設工事	4.00	立会	R4.8.22
127	西赤産遺跡	岩村田北	佐久市(下水道課)	下水道整備	15.60	立会	R4.9.16
128	長士呂遺跡群	長士呂	個人	個人住宅建築工事	300.16	立会	R4.12.19
129	葛蒲沢遺跡	甲	個人	個人住宅建築工事	419.29	立会	R4.7.21
130	下泉屋敷遺跡群	伴野	個人	個人住宅建築工事	411.98	立会	R4.8.19-9.13
131	上小田切城跡	上小田切	佐久市(消防団)	警備機解体工事	8.00	立会	R4.9.1
132	岩村田遺跡群	岩村田	個人	個人住宅建築工事	209.64	立会	R4.9.7
133	大井城跡	岩村田	個人	個人住宅建築工事	293.45	立会	R4.7.25
134	枇杷坂遺跡群	佐久平新市	ホクシンハウス㈱	展示住宅建築工事	489.57	立会	R4.9.16
135	松の木遺跡	佐久平新市	㈱平和不動産	店舗増築工事	1,829.00	立会	R4.10.12
136	平馬塚遺跡群	桜井	長野都市ガス㈱	ガス管布設工事	33.00	立会	R4.8.17
137	前田遺跡群	塚原	個人	個人住宅建築工事	484.02	立会	R4.9.27
138	休石遺跡	伴野	個人	個人住宅建築工事	347.33	立会	R4.8.22
139	枇杷坂遺跡群	岩村田	佐久市長	道路改良工事	240.00	立会	R5.2.24
140	塚原屋敷遺跡	平塚	個人	個人住宅建築工事	298.71	立会	R4.8.29
141	塚原屋敷遺跡	平塚	個人	個人住宅建築工事	399.67	立会	R4.8.4
142	寄塚遺跡群	三河田	個人	個人住宅建築工事	334.97	立会	R4.8.5
143	西近津遺跡群	長士呂	個人	個人住宅建築工事	287.06	立会	R4.8.19
144	西一里塚遺跡群	岩村田	個人	個人住宅建築工事	849.16	立会	R4.8.24
145	周防畑遺跡群	長士呂	長野都市ガス	ガス管布設工事	28.80	立会	R4.9.5
146	長士呂遺跡群	長士呂	㈱アィダ設計	建築住宅建築工事	201.34	立会	R5.2.8
147	粟毛坂遺跡群	岩村田	個人	個人住宅建築工事	247.75	立会	R4.8.8
148	尾塚遺跡群	塚原	個人	個人住宅建築工事	252.46	立会	R4.7.29
149	岩村田遺跡群	岩村田	個人	個人住宅建築工事	400.06	立会	R4.10.3
150	東大久保遺跡群	下平尾	個人	個人住宅解体工事	724.67	立会	R4.9.9
151	白拍子遺跡群	取出町	長野都市ガス㈱	ガス管敷設工事	149.60	立会	R4.9.26
152	周防畑遺跡群	長士呂	セキスイハイム信越㈱	建築住宅建築工事	183.06	立会	R4.8.22
153	周防畑遺跡群	長士呂	セキスイハイム信越㈱	建築住宅建築工事	291.56	立会	R4.8.22
154	西大久保遺跡群	下平尾	㈱光和建設	建築住宅建築工事	214.9	立会	R4.8.30
155	樋村遺跡	平賀	個人	個人住宅建築工事	361.8	立会	R4.10.4
156	後澤遺跡	小宮山	個人	個人住宅建築工事	313.73	立会	R4.10.6
157	瀬り遺跡	岩村田	㈱フォレストモール	屋外駐車場	1,548.00	立会	R4.10.17
158	鳴瀬宮の前遺跡	鳴瀬	個人	個人住宅建築工事	286.55	立会	R4.9.2

令和4年度 市内遺跡発掘調査一覧表(立会5)

No	遺跡名	所在地	開発主体者	開発事業名	開発面積 (㎡)	保護 措置	調査期間
159	水操遺跡群	根岸	東天モバイル㈱	携帯電話局設置	2.25	立会	R4.9.27
160	蛇塚遺跡群	猿久保	個人	個人住宅建築工事	242.71	立会	R4.8.26-9.2
161	白拍子遺跡群	取出町	個人	個人住宅建築工事	247.82	立会	R4.9.9
162	新町遺跡	中込	個人	個人住宅建築工事	192.44	立会	R4.11.15
163	簡畑遺跡群他	安原	佐久市(土木課)	道路改修工事	4,925.00	立会	R5.2.14
164	栗毛坂遺跡群	岩村田	個人	個人住宅建築工事	203.00	立会	R4.8.25
165	下信濃石遺跡	岩村田	個人	個人住宅建築工事	236.68	立会	R4.8.30
166	西の瀬遺跡	小宮山	個人	個人住宅建築工事	461.22	立会	R4.10.27
167	中反遺跡群	瀬戸	個人	個人住宅建築工事	323.00	立会	R4.11.14
168	東千石平遺跡群	瀬戸	個人	個人住宅建築工事	313.95	立会	R4.9.27
169	金井城跡	小田井	個人	個人住宅建築工事	462.00	立会	R4.10.25
170	西一里塚遺跡群	平塚	個人	個人住宅建築工事	463.77	立会	R4.10.4
171	荒船湖遺跡群	内山	佐久市(観光課)	内山牧場野営場整備事業	341.66	立会	R4.11.9
172	尼塚遺跡群	塚原	個人	個人住宅建築工事	329.70	立会	R4.9.20
173	長土呂遺跡群	長土呂	アイダ設計㈱	建売住宅建築工事	196.71	立会	R5.2.8
174	野沢城跡	野沢	個人	個人住宅建築工事	206.19	立会	R5.1.10
175	前堰遺跡	高柳	佐久市(公園緑地課)	フェンス設置	3.00	立会	R4.10.28
176	岩村田遺跡群	岩村田	個人	個人住宅建築工事	246.19	立会	R4.9.29
177	西裏遺跡群	伴野	(株) コスモ福祉会	福祉施設建築工事	701.00	立会	R4.12.15、R5.1.16
178	城平遺跡群	平賀	個人	個人住宅建築工事	388.51	立会	R4.10.14
179	鳴澤遺跡群	根々井	個人	個人住宅建築工事	400.00	立会	R4.10.24
180	芝宮遺跡群	長土呂	個人	個人住宅建築工事	280.30	立会	R4.9.20
181	芝宮遺跡群	長土呂	個人	個人住宅建築工事	397.43	立会	R4.9.26
182	金山遺跡・野沢城跡	野沢	(有) 日之出	コインランドリー建設工事	853.63	立会	R4.11.14
183	岩村田遺跡群	岩村田	ホクシンハウス㈱	建売住宅建築工事	210.11	立会	R4.10.14
184	岩村田遺跡群	岩村田	ホクシンハウス㈱	建売住宅建築工事	210.11	立会	R4.11.2
185	岩村田遺跡群	岩村田	和平住宅	宅地造成工事	214.53	立会	R4.9.6
186	上砂田遺跡	佐久平駅南	個人	歯科医院建設工事	1,263.57	立会	R5.1.6
187	大原遺跡	甲	個人	住宅倉庫建築	660.11	立会	R4.10.18
188	根々井居屋敷遺跡	根々井	長野都市ガス㈱	ガス管敷設工事	18.60	立会	R4.11.30
189	岩村田遺跡群	岩村田	個人	個人住宅建築工事	51.93	立会	R4.10.28
190	芝宮遺跡群	長土呂	個人	個人住宅建築工事	296.72	立会	R4.9.29
191	芝宮遺跡群	長土呂	個人	個人住宅建築工事	329.64	立会	R4.9.29
192	下滝遺跡	湯原	個人	個人住宅建築工事	378.06	立会	R4.10.18
193	善郷寺遺跡	春日	個人	個人住宅建築工事	365.41	立会	R4.9.28-29
194	栗毛坂遺跡群	岩村田	個人	個人住宅建築工事	205.78	立会	R4.12.5
195	前田遺跡群	塚原	個人	個人住宅建築工事	161.04	立会	R5.1.18
196	芝宮遺跡群	長土呂	個人	個人住宅建築工事	274.57	立会	R4.10.18
197	岩尾城跡	鳴瀬	個人	個人住宅建築工事	675.00	立会	R4.10.4-11.29
198	野沢城跡	野沢	個人	個人住宅建築工事	330.21	立会	R4.10.12
199	志賀神明の木遺跡	志賀	個人	個人住宅建築工事	151.20	立会	R4.10.28

●令和4年度 市内遺跡発掘調査一覧表（立会6）

No	遺跡名	所在地	開発主体者	開発事業名	開発面積 (㎡)	保護措置	調査期間
200	岩村田遺跡群	岩村田	福平和住宅	建売住宅建築工事	324.22	立会	R4.10.27-31
201	南久保・居村遺跡	中小田切	個人	個人住宅建築工事	528.37	立会	R4.12.19
202	棧敷遺跡	安原	新創農地所	建売住宅建築工事	304.57	立会	R4.12.12
203	棧敷遺跡	安原	新創農地所	建売住宅建築工事	421.59	立会	R4.11.4
204	長明塚遺跡	野沢	個人	個人住宅建築工事	352.87	立会	R4.10.26
205	蛇塚遺跡群	新子田	個人	個人住宅建築工事	282.22	立会	R4.11.21
206	粟毛坂遺跡群	岩村田	個人	個人住宅建築工事	217.59	立会	R4.10.20
207	周防畑遺跡群	長土呂	個人	個人住宅建築工事	255.83	立会	R4.10.24
208	藤ヶ城跡	岩村田	個人	解体工事	480.00	立会	R4.13.16-20
209	権現山遺跡群	甲	個人	個人住宅建築工事	438.07	立会	R4.11.21
210	月夜平遺跡	入澤	個人	個人住宅建築工事	725.35	立会	R4.11.1-12.8
211	芝宮遺跡群	長土呂	個人	個人住宅建築工事	252.38	立会	R4.11.21
212	下滝遺跡	湯原	個人	個人住宅建築工事	373.84	立会	RS.31
213	岩村田遺跡群	岩村田	京 東日本㈱	鉄道用地工事	1.64	立会	R4.12.21
214	西近津遺跡群	長土呂	京 東日本㈱	鉄道用地工事	3.28	立会	R4.12.7
215	中反田遺跡群	田口	京 東日本㈱	鉄道用地工事	4.28	立会	RS.12.3
216	平尾一本松岩跡	上平尾	佐久市（公園緑地課）	掘削工事	20.00	立会	R4.12.2
217	戸屋敷遺跡群	安原	福平和住宅	宅地造成に伴う跡地造成試験	2,481.00	立会	R4.11.10
218	大塚遺跡群	中込	福平和住宅	宅地造成に伴う跡地造成試験	2,430.00	立会	R4.11.10
219	枇杷坂遺跡群	岩村田	中部電力パワ-グリッド㈱	変電所内管路埋設工事	5,572.09	立会	RS.1.30
220	城下遺跡	白田	個人	個人住宅解体工事	235.69	立会	RS.1.20
221	岩村田遺跡群	岩村田	個人	個人住宅建築工事	281.24	立会	R4.12.15
222	中原遺跡群	三河田	佐久市（下水道建設課）	下水道建設工事	70.00	立会	RS.2.22
223	月夜平遺跡	入沢	個人	個人住宅建築工事	499.99	立会	R4.1.16
224	藤ヶ城跡	岩村田	佐久市教育委員会	井戸安全設備設置工事	2.00	立会	R4.12.22
225	西一里塚遺跡群他	根々井	佐久市土地改良区	水害更新	4,750.00	立会	RS.2.17
226	十二平遺跡	協和	佐久市（移住交流推進課）	移住体験住宅売却工事	945.48	立会	RS.2.7
227	中道遺跡群	野沢	新ヤマダホームズ	建売住宅建築工事	399.00	立会	R4.12.26
228	下前田原遺跡群	小田井	TDK㈱浅間テクノ工場	工場新築工事	95,352.04	立会	RS.1.17
229	周防畑遺跡群	長土呂	個人	個人住宅建築工事	344.24	立会	R4.12.20
230	岩村田遺跡群	中込	個人	クリニック増築工事	1,235.64	立会	R4.12.12
231	近津遺跡群	長土呂	個人	個人住宅建築工事	863.62	立会	R4.12.5
232	西大久保遺跡群	下平尾	個人	個人住宅建築工事	243.38	立会	R4.12.5
233	五庵遺跡	田口	東日本電信電話㈱	電柱移設工事	5.67	立会	RS.1.23
234	龍岡城跡	田口	東日本電信電話㈱	電柱移設工事	2.43	立会	RS.1.23
235	龍岡城跡	田口	佐久市教育委員会	フェンス撤去復旧	0.20	立会	R4.11.18
236	芝宮遺跡群	長土呂	個人	個人住宅建築工事	291.13	立会	R4.12.26
237	平賀中屋敷遺跡群	平賀	個人	個人住宅建築工事	705.30	立会	R4.12.14、RS.2.22
238	須釜原古窯址群	蓬田	東天モバイル㈱	携帯基地局設置	2.25	立会	R4.12.23
239	宮の上遺跡群	根々井	社会福祉法人 双緑会	認定こども園建設工事	2,752.23	立会	RS.1.16
240	勝間原遺跡	下小田切	佐久市（土木課）	道路舗装・水路取替		立会	R4.12.5

令和4年度 市内遺跡発掘調査一覧表（立会7）

No	遺跡名	所在地	開発主体者	開発事業名	開発面積 (㎡)	保護措置	調査期間
241	芝宮遺跡群	長土呂	和田園不動産	建売住宅建築工事	255.35	立会	R4.12.9
242	岩村田遺跡群	岩村田	個人	個人住宅建築工事	211.76	立会	R5.1.30
243	社宮司遺跡	原	和平和住宅	原酒試験	1.75	立会	R4.12.20
244	近津遺跡群	長土呂	共和ハウジング㈱	建売住宅建築工事	162.94	立会	R5.1.18
245	近津遺跡群	長土呂	株式会社 創豊地所	宅地造成工事	913.91	立会	R5.2.7
246	岩村田遺跡群	岩村田	個人	個人住宅建築工事	214.15	立会	R4.12.20
247	岩村田遺跡群	岩村田	個人	個人住宅建築工事	305.85	立会	R4.12.16
248	城平遺跡群・平賀城跡	平賀	個人	個人住宅建築工事	471.70	立会	R5.1.27
249	白拍子遺跡群	取出町	個人	個人住宅建築工事	333.83	立会	R5.2.6
250	野沢城跡	野沢	和平和住宅	建売住宅建築工事	347.11	立会	R5.1.25
251	芝宮遺跡群	長土呂	個人	個人住宅建築工事	291.86	立会	R5.1.13
252	岩村田遺跡群	岩村田	和平和住宅	建売住宅建築工事	246.07	立会	R5.1.10
253	芝宮遺跡群	長土呂	㈱/ひ(まる)ハウス	建売住宅建築工事	217.35	立会	R5.1.5
254	深堀遺跡群	瀬戸	㈱/ひ(まる)ハウス	建売住宅建築工事	256.40	立会	R5.1.16
255	枇杷坂遺跡群	岩村田	個人	個人住宅建築工事	338.91	立会	R5.1.26
256	蛇塚遺跡群	安原	個人	個人住宅建築工事	304.32	立会	R5.3.13
257	大塚遺跡群	中込	個人	個人住宅建築工事	181.47	立会	R5.1.25
258	宮の上遺跡群	横和	小泉ファーム㈱	買屋住宅建築工事	496.77	立会	R5.2.27
259	新町遺跡	中込	個人	個人住宅建築工事	415.26	立会	R5.3.3
260	蛇塚遺跡群	新子田	個人	個人住宅建築工事	640.19	立会	R5.1.30
261	岩村田遺跡群	岩村田	個人	個人住宅建築工事	248.97	立会	R5.2.16
262	三分遺跡群	三分	個人	個人住宅建築工事	314.22	立会	R5.3.1
263	常田屋敷遺跡群	常田	個人	個人住宅建築工事	350.29	立会	R5.2.27-3.22
264	東大久保遺跡群	上平尾	個人	個人住宅建築工事	472.50	立会	R5.1.24
265	美里在家遺跡	白田	佐久市（土木課）	アスファルト舗装・側溝更新	1,313.00	立会	R5.1.20
266	西妻神遺跡	中込	個人	個人住宅建築工事	182.97	立会	R5.3.27
267	蛇塚遺跡群	猿久保	個人	個人住宅建築工事	244.78	立会	R5.2.7
268	花立遺跡	茂田井	ソフトバンク㈱	携帯電話局	767.00	立会	R5.3.10
269	城下遺跡	白田	個人	個人住宅建築工事	270.61	立会	R5.1.30
270	芝宮遺跡群	長土呂	双信電機㈱	カーポート新設	20.85	立会	R5.1.26
271	野沢城跡	原	個人	個人住宅建築工事	236.81	立会	R5.2.1
272	棧敷遺跡	安原	個人	個人住宅建築工事	279.29	立会	R5.2.3
273	前田遺跡群	塚原	個人	個人住宅建築工事	485.68	立会	R5.1.24
274	大平遺跡	八幡	個人	個人住宅建築工事	341.11	立会	R5.2.13-16
275	岩村田遺跡群	岩村田	和平和住宅	駐車場整備工事	975.22	立会	R5.1.30
276	道添遺跡	塚原	個人	個人住宅建築工事	382.44	立会	R5.2.7-15
277	馬場在家遺跡群	常和	個人	個人住宅建築工事	457.00	立会	R5.2.20
278	寺畑遺跡群	猿久保	三光産業㈱	工場倉庫建設	63.00	立会	R5.2.6
279	藤ヶ城跡	岩村田	佐久市教育委員会	看板設置工事	1.00	立会	R5.2.24
280	棧敷遺跡	安原	㈱/ひ(まる)ハウス	建売住宅（モデルハウス）建築	282.68	立会	R5.1.31
281	平賀城跡	平賀	個人	サンルーム増築工事	499.45	立会	R5.2.9

令和4年度 市内遺跡発掘調査一覧表（立会8）

No	遺跡名	所在地	開発主体者	開発事業名	開発面積 (㎡)	保護措置	調査期間
282	前田遺跡群常田居屋敷遺跡	塚原	双信電機㈱	個人住宅建築工事	375.00	立会	R5.2.27
283	白拍子遺跡群	取出町	個人	個人住宅建築工事	185.19	立会	R5.3.2-6
284	中道遺跡群	野沢	株式会社ヤマダホームズ	建売住宅建築工事	401.85	立会	R5.2.21
285	日影遺跡	下小田切	佐久市 (耕地林務課)	用水路改修工事	31.40	立会	R5.3.2
286	神明A遺跡	八幡	佐久市 (漢科支所)	解体工事	2,311.09	立会	R5.3.6
287	松の木遺跡・岩村田遺跡群	岩村田	A&C・ユスリアルティマソフント㈱	既存建物解体工事	12,807.15	立会	R5.3.10
288	蛇塚遺跡群	猿久保	個人	個人住宅建築工事	247.49	立会	R5.3.6
289	筒畑遺跡群	新子田	新築栄開発	宅地造成工事	891.92	立会	R5.3.7-10
290	大塚遺跡群	中込	長野都市ガス㈱	ガス管敷設工事	3.30	立会	R5.3.9
291	枇杷坂遺跡群	佐久平駅東	セキスイハイム信越㈱	住宅展示場 モデルハウス	768.94	立会	R5.3.9
292	中道遺跡群	野沢	㈱ヤマダホームズ	建売住宅建築工事	400.00	立会	R5.3.16
293	野沢城跡	野沢	個人	個人住宅建築工事	371.81	立会	R5.3.27
294	大井城跡	岩村田	個人	個人住宅建築工事	326.71	立会	R5.3.20
295	城山遺跡・荒山城跡	佐久市教育委員会		浸透トレンチ建築	17.00	立会	R5.3.21
294	岩村田遺跡群	岩村田	個人	解体工事	536.18	立会	R5.3.21-22
297	滝遺跡	滝原	個人	個人住宅建築工事	346.42	立会	R5.3.24
298	長土呂遺跡群	長土呂	㈱P/F 設計	建売住宅建築工事	226.97	立会	R5.3.27
299	宮の前遺跡	下平尾	個人	個人住宅建築工事	30.00	立会	R5.3.28
300	平賀中屋敷遺跡群	平賀	個人	個人住宅建築工事	478.14	立会	R5.3.29
301	三塚鶴田遺跡	三塚	長野都市ガス	ガス管入替工事	101.20	立会	R5.1.21
302	長土呂遺跡群	長土呂	㈱マルニシ	食肉センター解体	12,444.39	立会	R5.3.16
303	岩村田遺跡群	岩村田	佐久市長 柳田清二	下水道管敷工事	32.00	立会	R5.1.10
304	中金井遺跡群	小田井	佐久市 (下水道課)	下水道管敷設工事	5.70	立会	R4.11.18
305	根々井居屋敷遺跡	根々井	佐久市 (下水道課)	下水道管敷工事	2.30	立会	R5.2.2

令和4年度 市内遺跡発掘調査一覧表（試掘後本調査）

No	遺跡名	所在地	開発主体者	開発事業名	調査面積 (㎡)	開発面積 (㎡)	保護措置	調査期間
1	東千石平遺跡群	瀬戸	個人	個人住宅建築工事	30.00	430.63	試掘後本調査	試掘 R4.7.19～22 管理 R4.7.22～R5.3.24
2	西近津遺跡群	長土呂	個人	個人住宅建築工事	100.00	312.33	試掘後本調査	試掘 R4.7.27～R4 管理 R4.8.5～R5.3.24
3	畑ヶ入遺跡	春日	個人	個人住宅建築工事	70.00	545.71	試掘後本調査	試掘 R4.8.17～R4.9.7 管理 R4.9.7～R5.3.24

3 調査概要

1.北上中原遺跡 I

所在地	佐久市小田井字下曾根64-1外
開発主体者	有限会社田園不動産
開発事業名	宅地造成工事
調査期間	令和4年4月26日～5月27日
調査面積	500㎡
調査担当者	久保浩一郎

●経過と立地

芝宮遺跡群は、佐久市北部の小田井・長土呂地籍に所在する縄文時代から平安時代までの複合遺跡である。今回、遺跡内で有限会社田園不動産による宅地造成工事が計画されたことにより、対象地内の道路建設範囲について遺構の確認調査を実施した。その結果、道路建設範囲全体に住居址やピットが分布することが確認された。保護協議の



北上中原遺跡 I 調査区全体図 (1/400)



北上中原遺跡 I 調査区全景 (北から)



北上中原遺跡 I 位置図 (1:50,000)

結果、道路建設範囲500㎡について、遺構の記録保存を目的とした本調査を実施することとなった。

●調査の概要

調査の結果、古墳時代から平安時代までの竪穴住居址16軒、土坑2基、ピット103基が検出された。これらは台地上に広く展開する集落の一部である。

出土した遺物は須恵器、土師器、灰軸陶器など日常的に使われる土器類が主体である。調査区北側のH3号住居址では、カマド中央で土師器甕が重なった状態で出土している。土器の他には、土製・石製・鉄製の紡錘車や、砥石などの石製品、鉄鍬や刀子などの鉄製品も出土している。



H3号住居址



北上中原遺跡 I 出土遺物

2.野馬久保遺跡Ⅲ

所在地 佐久市猿久保162-11他
 開発主体者 有限会社 新栄住宅
 開発事業名 宅地造成
 調査期間 令和4年5月10日～5月20日
 調査面積 224㎡
 調査担当者 富沢一明



野馬久保遺跡Ⅲ位置図 (1:50,000)

●経過と立地

野馬久保遺跡Ⅲは佐久市猿久保に所在し、蛇塚遺跡群の南西よりに位置する。遺跡は台地縁近くに立地し、周辺の海拔は705m前後を測る。

本遺跡の周辺は、長野県立武道館や佐久市創錬センター建設等により多くの開発が行われ、先行して埋蔵文化財発掘調査が数多く行われている地域である。周辺の調査された遺跡としては「L」字状の溝に囲まれた中世の屋敷跡検出された野馬窪遺跡Ⅱ・Ⅲや平安時代の集落が検出された野馬窪遺跡Ⅵ・Ⅶ等がある。特にこれら平安時代の竪穴住居址からは墨書土器が多く出土する傾向にある。

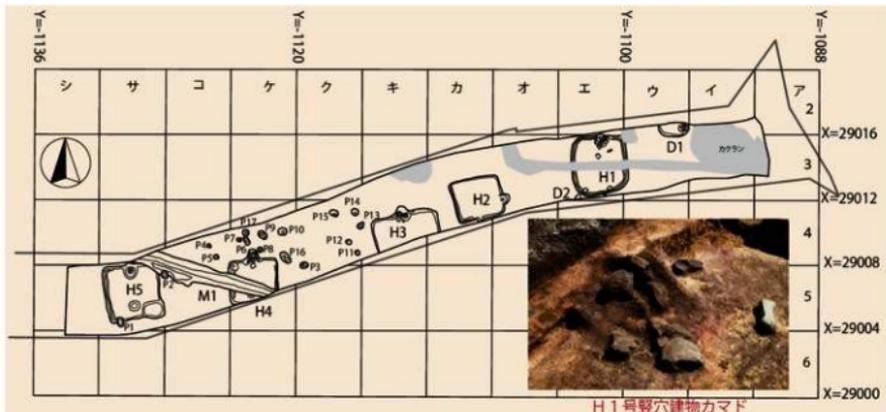
今回、遺跡内において有限会社新栄住宅により宅地造成の計画がされ、市教育委員会を通し県教育委員会に文化財保護法93条の届出があった。市教育委員会では試掘・確認調査を行い、その結果から遺跡の保護措置がとれない道路建設部分で記録保存目的の発掘調査を行うこととなった。

●調査の概要

遺構 竪穴建物5軒(平安)、溝1条、土坑2基
 遺物 土師器、須恵器、緑釉陶器、灰釉陶器
 土製品(土錘)、鉄製品(鐵)



H1号竪穴建物



H1号竪穴建物カマド

野馬久保遺跡Ⅲ調査区全体図 (1:300)



↑作業風景



D7号土坑(井戸)完掘



若宮遺跡VI調査区全体図

4. 志賀神明の木遺跡Ⅱ・石田遺跡Ⅱ

所在地	佐久市志賀5951-1
開発主体者	長野県佐久建設事務所
開発事業名	令和4年度 国補道路改築（通学 路緊急対策）事業
調査期間	令和4年11月9日～12月23日
調査面積	170㎡
調査担当者	久保浩一郎

●経過と立地

志賀神明の木遺跡・石田遺跡は、佐久市東部の志賀地籍に所在する奈良・平安時代の遺跡である。今回、遺跡内で長野県佐久建設事務所による県道拡幅工事が計画されたことにより、対象地において遺構の確認調査を実施した。その結果、奈良時代の住居址等が検出された170㎡について遺構の記録保存を目的とした本調査を実施することとなった。

●調査の概要

調査の結果、地表下約80cm～1.2mの褐色シルト層上面で奈良時代～中世と考えられる竪穴住居址2軒、掘立柱建物1棟、溝址6条等が検出された。



調査区全景（北から）



志賀神明の木遺跡Ⅱ・石田遺跡Ⅱ位置図（1：50,000）

M4～M6は、M4→M6→M5と変遷する自然流路と考えら、縄文土器、奈良時代の土師器や須恵器が出土した。



志賀神明の木遺跡Ⅱ・石田遺跡Ⅱ調査区全体図

5.根々井居屋敷遺跡Ⅱ

所在地 佐久市根々井字屋敷563-1
 開発主体者 個人
 開発事業名 事務所建設工事
 調査期間 令和4年9月14日～10月5日
 調査面積 134㎡
 調査担当者 富沢一明



根々井居屋敷遺跡Ⅱ位置図 (1:50,000)

●経過と立地

根々井居屋敷遺跡Ⅱは佐久市根々井に所在し、調査地点は湯川により形成された低い台地上の縁辺に位置する。本遺跡の周辺は、埋蔵文化財発掘調査の実績に乏しい地域であるが、今回の調査地点に近接して根々井居屋敷遺跡Ⅰ、根々井居屋敷遺跡Ⅲがある。いずれの遺跡からも弥生時代から平安時代の遺構が検出されている。また、北側の台地上縁辺には、いわゆる「流山」を利用した根々井大塚古墳が立地する。本古墳は、流山山頂の一部を利用した弥生時代末から古墳時代初頭の「墳丘墓」的な墳墓であることが判明しており、佐久地域においては希少な事例となっている。

今回、遺跡内において個人により事務所建設工事が計画され、市教育委員会を通し県教育委員会に文化財保護法93条の届出があった。市教育委員会では試掘・確認調査を行い、その結果から遺跡の保護措置がとれない建物基礎部分で記録保存目的の発掘調査を行うこととなった。



根々井居屋敷遺跡Ⅱ調査区全体図 (1:200)

●調査の概要

遺構 竪穴建物8軒(弥生～平安時代)
 溝址1条、土坑3基
 遺物 弥生土器(箱清水式)、土師器
 須恵器、灰釉陶器、陶磁器類
 土製品(紡錘車)、石製品



H1号竪穴建物(東から)、カマド



6. 根々井居屋敷遺跡Ⅲ

所在地	佐久市根々井字居屋敷574-1.2.3
開発主体者	有限会社 平和住宅
開発事業名	宅地造成
調査期間	令和4年10月5日～27日
調査面積	200㎡
調査担当者	富沢一明



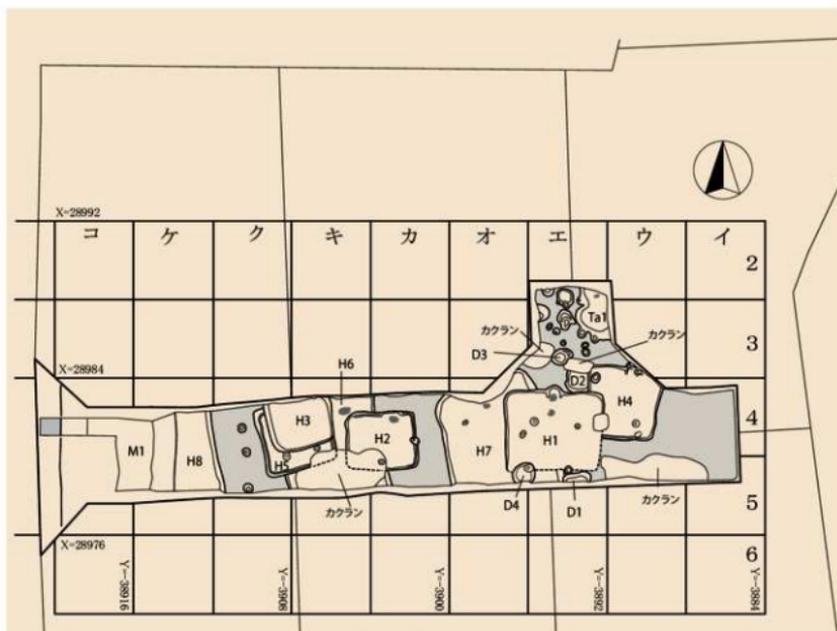
根々井居屋敷遺跡Ⅲ位置図 (1 : 50,000)

●経過と立地

根々井居屋敷遺跡Ⅲは佐久市根々井に所在し、調査地点は湯川により形成された低い台地上の縁辺に位置する。本遺跡の周辺は、埋蔵文化財発掘調査の実績に乏しい地域であるが、今回の調査地点に近接して根々井居屋敷遺跡Ⅰ、根々井居屋敷遺跡Ⅱがある。いずれの遺跡からも弥生時代から平安時代の遺構が検出されている。また、北側の台地上縁辺には、いわゆる「流山」を利用した根々井大塚古墳が立地する。本古墳は、流山山頂

の一部を利用した弥生時代末から古墳時代初頭の「墳丘墓」的な墳墓であることが判明しており、佐久地域においては希少な事例となっている。

今回、遺跡内において有限会社平和住宅により宅地造成が計画され、市教育委員会を通し県教育委員会に文化財保護法93条の届出があった。市教育委員会では試掘・確認調査を行い、その結果から遺跡の保護措置がとれない道路建設部分で記録保存目的の発掘調査を行うこととなった。



根々井居屋敷遺跡Ⅲ調査区全体図 (1 : 250)

●調査の概要

遺 構 竪穴建物 8 軒(弥生時代～平安時代)
 中世の竪穴建物 1 軒
 溝 1 条、土坑 3 基



H7号竪穴建物

遺 物 弥生土器(箱清水式) 土師器 須恵器
 灰釉陶器、緑釉陶器、陶磁器類、石製品



M1溝 (向かって右はH8号竪穴建物)

7. 壘畑遺跡

所 在 地 佐久市鳴瀬3370他
 開発主体者 佐久市 道路建設課
 開発事業名 橋梁架け替え工事
 調査期間 令和4年10月21日～12月6日
 調査面積 935㎡
 調査担当者 小林眞寿



壘畑遺跡位置図 (1:50,000)

●経過と立地

壘畑遺跡は佐久市鳴瀬の湯川右岸の段丘上に立地する。今回の調査地点は、蛇行を繰り返しながら流下する湯川が北から大きく南にうねることにより造り出された段丘先端部に位置し、湯川の南に位置する千曲川との合流点の上流にあたり、千曲川と湯川が最も近接する場所でもある。また、千曲川は遺跡上流で片貝川、滑津川の両河川とも合流しており、湯川合流地点のわずかに上流で流れを西から北へ変更する。このような河川の合流により生じた複雑な地形は、古代の人々の生活に利する部分が大きかったのであろうか、周辺部の遺跡分布も濃厚である。また、遺跡南東の目前には岩尾城跡が聳えている。

今回、2019年の豪雨災害により被災した本願橋の橋梁架け替え工事に伴い、佐久市道路建設課から文化財保護法第94条の届出があり、市教育委員会が試掘・確認調査を実施した結果、未周知の古墳1基を含む遺跡の存在が確認されたため記録保存を目的とした発掘調査を行った。

●調査の概要

遺 構 古墳 1 基
 竪穴建物 8 軒(H1は製鉄炉址の可能性を有する。古墳時代)
 石棺 1 基
 溝 2 条

遺 物 縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器
 石器・石製品、金属器・金属製品
 製鉄炉の炉体と思われる焼けた粘土塊



石棺



↑古墳全景（東から）



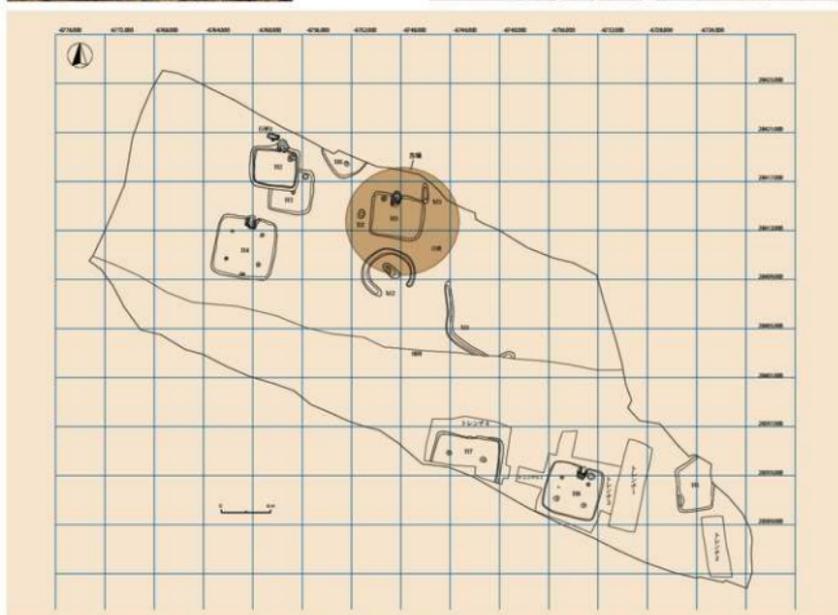
玄室内鉄刀出土状況→



←H 4
遺物出土状況



H8 →
遺物出土状況



量畑遺跡調査区全体図 (1 : 400)

4 調査報告

1. 金山遺跡

所在地	佐久市跡部113-1
開発主体者	個人
開発事業名	クスリのアオキ新店舗建設工事
調査期間	令和4年8月22日～24日（現場）
調査面積	36㎡
調査担当者	富沢一明

●経過と立地

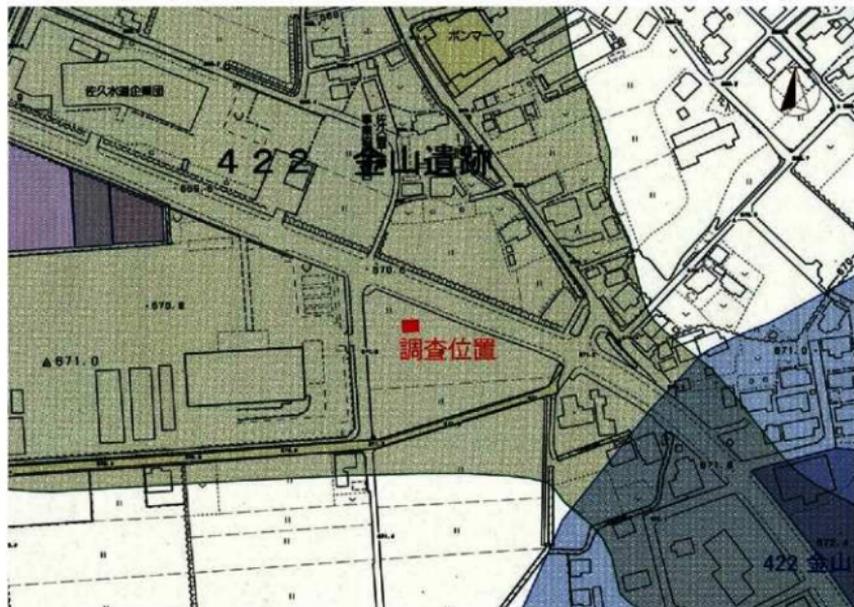
金山遺跡は佐久市跡部に所在する。遺跡は千曲川や片貝川により形成された沖積微高地上に立地する。周辺の調査された遺跡としては国道141・142号拡幅工事の折に調査された市道遺跡・跡部徳田遺跡・辻遺跡や、中世伴野氏の関連と考えられる県史跡・野沢館跡等がある。特にこの内、市道遺跡は現在までに6次の調査が重ねられ、古墳時代中期～平安時代に及ぶ長い期間、集落として



金山遺跡位置図 (1:50,000)

利用されていたことが判明している。また、県史跡の野沢館跡は平成14年に公園整備の一環で発掘調査がなされ、南側の堀内に「土橋」が発見された。また一部「土塁」の調査では構築方法が異なる2種類の土塁が確認され、下層の土塁からは石積みが発見され中野市に所在する高梨氏館跡との共通性が指摘されている。

今回、遺跡内でクスリのアオキによる店舗建設が計画され、文化財保護法93条の届出がなされた。佐久市教育委員会では、開発対象地の試掘調査を行い、開発により遺跡の保護保存ができない部分

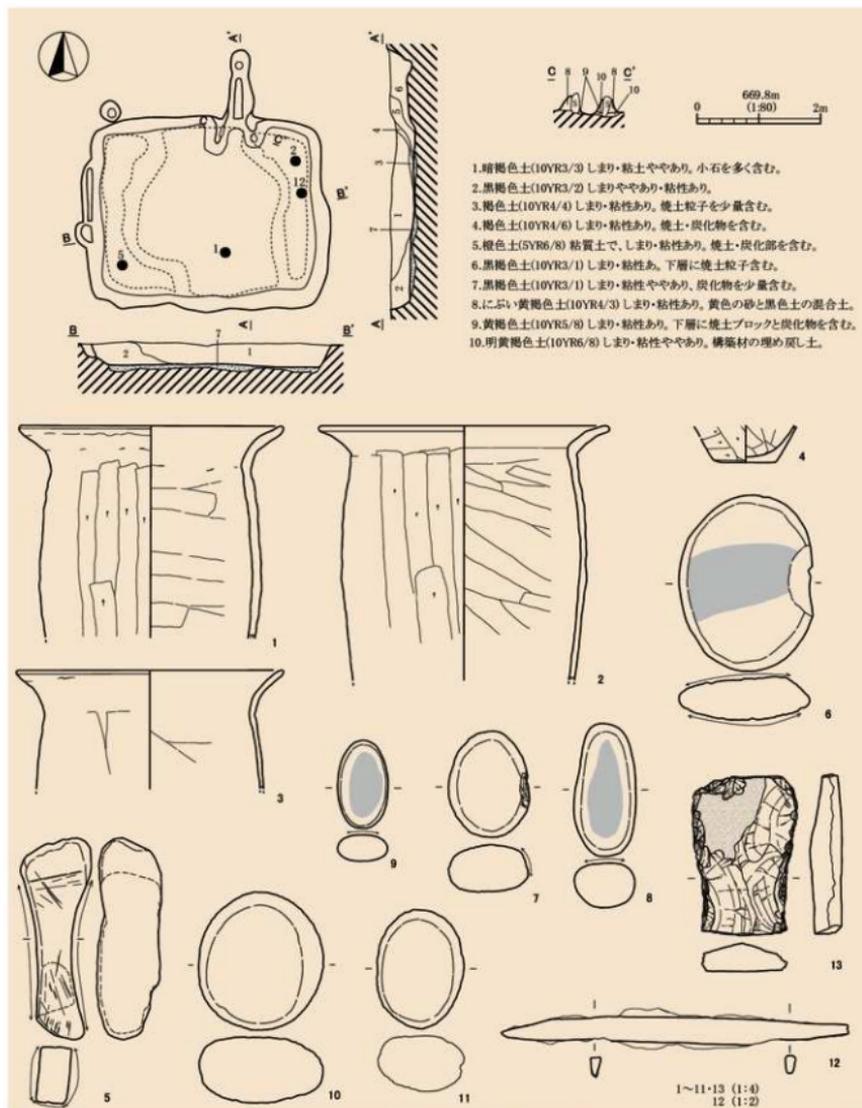


金山遺跡調査位置図

に関して、記録保存目的の発掘調査を行うこととなった。宮田遺跡、南に接する東久保遺跡では広範囲な発掘調査が行われ様々な調査成果が報告されている。

●H1号住居跡

今回調査された遺構は、竪穴式住居1軒である。形態は一辺4m程の方形で、北壁のやや東寄りにカマドが構築されていた。カマドは煙道部が住居址



H1号住居址平面図及び出土遺物実測図

外に長く延びるタイプのカマドで、構築材は袖部に川原石を使用し、粘性の強い土で覆っていた。柱の穴は検出されなかった。

出土遺物は少なく、土師器甕、砥石、刀子等があったが、土師器環や須恵器は出土しなかった。1～4は土師器甕である。1～3は口縁部から胴部の破片であり、外面に縦方向のヘラケズリが確認できる。また、胎土はやや粗く砂粒が含まれる。4は底部の部分であり、外面ヘラケズリが施されており、器厚は薄く、胎土も精錬されている。いわゆる「武蔵甕」と呼ばれる土師器甕と考えられる。5は砥石で、ほぼ床面上から出土した。砥面は3面確認でき、よく使い込まれている。6・8・9は磨り石で、6は2面、その他は片面1面に顕著な磨り痕が確認できる。7は側面に敲き痕が確認できる敲き石である。10と11は円鏝で、顕著な使用痕は確認できないが、面取りの可能性も



H1号住居址

あり図化した。12は鉄製品の刀子である。柄先端が一部欠損している他はほぼ完形である。13は調査時の表土除去中からの出土である。打製石斧であり、刃部を欠損すると考えられる。これらの出土遺物から本址の時期は不確定であるが、土師器甕の特徴より古墳時代末～奈良時代初頭頃の所産時期が考えられる。



H1号住居址出土遺物 (12は1/2、他は1/4)

●調査のまとめ

今回の発掘調査は36㎡というごく限られた範囲の調査であったが、金山遺跡としては初の本格的な発掘調査となった。結果、古墳時代末から奈良

時代初頭の竪穴住居址が調査され、周辺部への広がりも確認された。調査事例の少ない地域である為、今後の調査においては希少な事例となり、まずはその1点を調査成果としたい。

2. 小山崎遺跡群 反田遺跡Ⅱ

所在地	佐久市下小田切反田41-1
開発主体者	株式会社 堀内組
開発事業名	宅地造成工事
調査期間	令和4年9月12日～16日（現場） 令和4年9月20日～12月8日（整理）
調査面積	60㎡
調査担当者	上原 学

●凡例

1. 遺構の略記号は竪穴住居址－H、土坑－D、ピット－Pである。
2. 挿図の縮尺は、遺構1:80、遺物1:4とした。
3. 遺構の海拔標高は各遺構ごとに統一し、水糸高を標高として記した。
4. 土層の色調は1988年度版「新版 標準土色帖」に基づいた。
5. 遺物実測図番号と写真番号および観察表番号は一致する。
6. 遺物表中の () は推定値、◇ は残存値を表す。
7. 挿図中のスクリーントーンは以下のことを示す。

地山 掘土範囲 黒色処理 施肥範囲

第1章 発掘調査の経緯

第1節 経過と立地

小山崎遺跡群は、立科山から流れ出た片貝川によって形成された沖積微高地上に位置する縄文時代～中世の複合遺跡で、今回調査を行った地点は遺跡群の南西に位置する。標高は714m内外を測る。遺跡群内では、本調査地の東側で介護施設建設工事に伴い、反田遺跡の発掘調査が行われ（平成18年度）、縄文・平安時代の住居址・土坑及び縄文～中世の遺物を発見した。

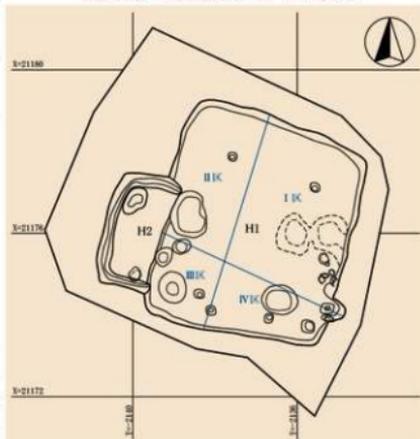
今回、宅地造成工事が行われることとなり、遺跡の保護を目的として遺構の確認調査を実施した（令



反田遺跡Ⅱ位置図 (1:50,000)



反田遺跡Ⅱ周辺遺跡分布図 (1:5,000)



反田遺跡Ⅱ調査区全体図 (1:120)

和4年8月10日)。その結果、開発地東側で竪穴住居址・土坑を発見した。主体者側と文化財保護協議の結果、工事によって遺構が破壊されるため発掘調査を実施した。

第2節 調査体制

調査受託者 佐久市教育委員会 吉岡道明

事務局	社会教育部長	土屋 孝
	文化振興課長	中沢栄二
	文化振興課企画幹	井上 剛
	文化財調査係長	伊澤信子 (4～6月)
		山本秀典 (7月～)
	文化財調査係	富沢一明 上原 学
		小林真寿 久保浩一郎
		松下友樹
任用職員	武者幸彦 渡辺 学	
	池野麻矢 出野理恵	
	比田井久美子	

第3節 調査日誌

令和4年9月12日 調査準備、重機による表土剥

9月13～16日 遺構確認、遺構掘り下げ、
図面作成、写真撮影、機材
撤収、現場作業終了。

9月20日～12月8日 室内整理。

第4節 基本層序

- I 灰黄褐色土層 (10YR6/2)
水田耕作土。粘性あり。
- II 褐灰色土層 (10YR4/1)
小石やや多い。粘性ややあり。
- III 黄褐色土層 (10YR5/6)

遺構確認面。きめ細かいシルト層。

第5節 遺構・遺物の概要

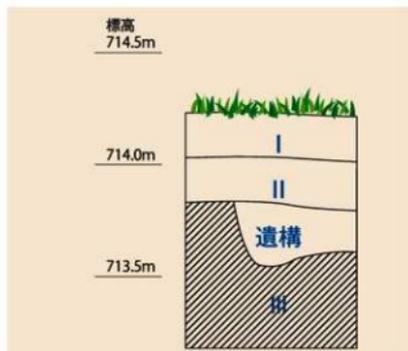
遺構 竪穴住居址ー2軒 (平安時代)

土坑ー1基 (不明)

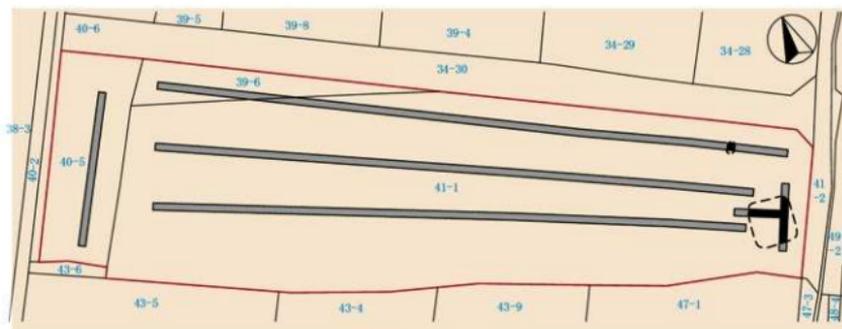
遺物 縄文土器、土師器 (平安時代)



反田遺跡II完掘状況 (西から)



基本層序模式図



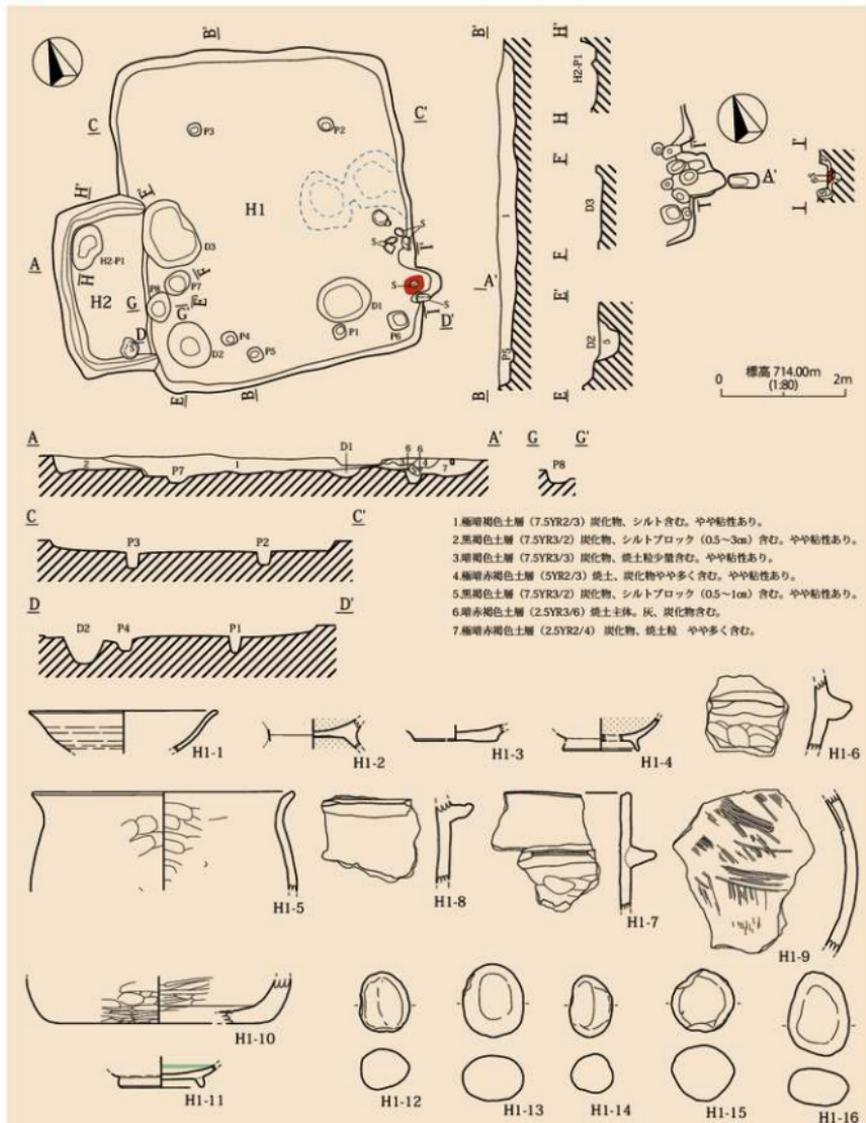
試掘調査全体図 (1:550)

石器(縄文時代)、石製品(平安時代)、鉄滓
第II章 遺構と遺物

● H1号住居址

平面形態は、やや南北方向に長い隅丸の方形である。H2と切り合い関係にあり、H2を切ると思われる。

規模は南北5.2m、東西4.4m、検出面から床面



H1・2号住居址遺構・遺物実測図

までの深さは最大20cmを測る。

床面は土間状に硬質である。

周溝は確認できなかった。

ビットは床面上で6個が確認でき、P1~4が主柱穴と思われる。

南西コーナーには直径50cm、深さ40cmの円形土坑が存在した。貯蔵用と考えられる。

カマドは南東隅に構築されている。上部の構築

物等は完全に破壊撤去され、火床付近から煙道に至る掘方が残存していた。火床付近に通常認められる灰・焼土・粘土の堆積はほとんど確認されなかった。

遺物は、土師器（羽釜・坏・碗・甕）、灰釉陶器（碗）、鉄滓、擦り石、混入品として縄文土器（深鉢）、打製石斧が出土した。

H1号住居址出土遺物観察表

No	器種	器形	法 量			調整・備考	残存率・部位	
			口径(長)	底径(短)	器高(厚)			重量等
1	土師器	坏	(15.2)	—	(3.3)	—	内外面クロコナデ	口縁部~体部
2	土師器	环	—	—	(2.4)	—	内外面クロコナデ 底部回転糸切り	底部 50%
3	土師器	碗?	(6.4)	(1.3)	—	—	内外面クロコナデ 内面黒色処理? 底部回転糸切り後高付磨削、ヘラナデ、黒色処理?	底部~高付付近
4	土師器	碗	(6.2)	(2.6)	—	—	内外面全体的に摩耗 内面黒色処理	体下部~底部
5	土師器	甕	(21.2)	—	(8.1)	—	内外面ヘラナデ	口縁部破片
6	土師器	羽釜	—	—	—	—	内面ナデ 外面胴部ヘラケズリ、磨貼付、口縁ココナデ	胴部分破片
7	土師器	羽釜	—	—	—	—	内外面口縁ヘラナデ 内面摩耗 外面磨貼付、ヘラナデ	口縁部~胴上部破片
8	土師器	羽釜	—	—	—	—	内外面ナデ 内面摩耗 外面磨貼付	胴~胴上部破片
9	土師器	甕	—	—	—	—	内面ヘラナデ 外面ミガキ	胴部破片
10	土師器	羽釜?	(16.6)	(3.6)	(1.7)	—	内面ヘラミガキ、底部ヘラナデ 外面ヘラナデ、底部ヘラケズリ	底部付近破片
11	灰釉陶器	皿	—	6.9	(1.7)	—	内面クロコナデ、磨削 内面クロコナデ後ヘラ磨削、底部回転糸切り後高付磨削	底部 70%
12	石器	擦り石	4.85	3.98	3.37	47.7	H1 II区から出土	—
13	石器	擦り石	5.93	4.92	3.72	107.6	H1 III区から出土	—
14	石器	擦り石	4.93	3.44	3.08	36.9	H1 III区から出土	—
15	石器	擦り石	5.00	5.02	4.65	79.9	H1 III区から出土	—
16	石器	擦り石	6.77	4.82	2.98	124.7	H1 IV区から出土	—

本住居址は平安時代後期と考えられる。

●H2号住居址

H1と切り合い関係にあり、東側を破壊されたと考えられる。調査規模は南北2.5m、東西1.3m、検出面から床面までの深さは最大20cmを測る。

床面は土間状の硬質面が認められた。

周溝は、壁際に幅15cm内外で掘り込まれていた。

ビットは確認できなかったが、北西コーナー付近に長径80cm、深さ10cmの窪みが存在した。

カマドは確認できなかった。

遺物は鉄滓1点が出土した。

時期は平安時代後期の住居址に切られることか

H2号住居址出土遺物観察表

No	器種	器形	法 量			調整・備考	残存率・部位	
			口径(長)	底径(短)	器高(厚)			重量等
1	鉄	鉄滓	6.49	4.41	1.95	51.9	写真のみ掲載	—

ら、平安時代後期以前の遺構と考えられる。

●D1号土坑

試掘確認調査のトレンチ内から発見された。上層部は大半が削平され、深さ5cm程度の掘り込みが確認できた。

遺物は、縄文時代中期後半の加曾利EIV式新段階の深鉢片6と、弥生土器（中期前半）の可能性も否定できない甕片7の2片が出土した。6は口縁下、7は口縁部の破片である。

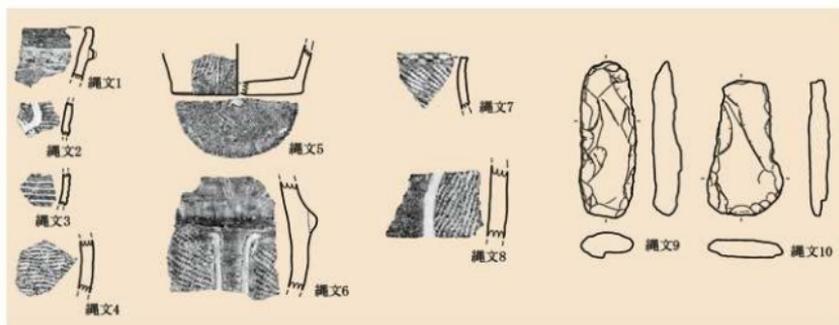
以上2点の出土遺物から本址の所産期を比定することは困難であり、時期不明と言わざるをえない。



D1号土坑掘り下げ後状況

縄文遺物観察表（6、7がD1出土遺物）

No	器種	器形	法量				調整・備考	残存率・部位
			口径(長)	底径(短)	器高(厚)	重量等		
1	縄文土器	深鉢	—	—	—	—	内外面ヘラナデ、外面横沈線、隆帯貼付、H1Ⅱ区から出土	口縁部付近破片
2	縄文土器	深鉢	—	—	—	—	内面ナデ、外面縄文、H1Ⅱ区から出土、弥生土器か？	体部破片
3	縄文土器	深鉢	—	—	—	—	外面横沈線、H1Ⅱ区から出土、弥生土器か？	体部破片
4	縄文土器	深鉢	—	—	—	—	内面ヘラナデ、外面縄文、H1Ⅰ区から出土	体部破片
5	縄文土器	深鉢	—	(10.6)	(4.0)	—	内面ヘラナデ、外面沈線、縄文、底部ヘラナデ、H1Ⅱ区から出土	底部 40%
6	縄文土器	深鉢	—	—	—	—	内面ナデ、外面丁状沈線、横隆帯、縄文、D1から出土	体部破片
7	縄文土器	深鉢	—	—	—	—	内面ナデ、外面縄文、口縁部押圧文、D1から出土、弥生土器か？	体部破片
8	縄文土器	深鉢	—	—	—	—	外面横沈線、縄文、表採	体部破片
9	石器	打製石斧	12.65	4.34	2.18	155.2	H1Ⅰ区から出土	—
10	石器	打製石斧	10.96	5.99	1.60	121.1	H1Ⅰ区から出土	—



縄文遺物実測図（6、7がD1出土遺物）



H1号住居址検出状況 (北東から)



調査風景 (北西から)



H1・2号住居址全景 (北西から)



H1号住居址カマド (西から)



H1号住居址カマド掘方 (西から)



H2号住居址完掘状況 (南から)



H1・2号住居址出土遺物・縄文遺物1 (1:3)



H1・2号住居址出土遺物・縄文遺物2 (1:3)

3. 岩村田池畑遺跡

所在地	佐久市岩村田字池畑314-1
開発主体者	株式会社あいうえ不動産
開発事業名	宅地造成工事
調査期間	令和4年10月20日～25日（現場） 令和4年11月8日～ 令和5年1月10日（整理）
調査面積	36㎡
調査担当者	上原 学 松下友樹

●凡例

1. 遺構の略記号は竪穴住居跡-H、土坑-D、ピット-Pである。
2. 挿図の縮尺は、遺構1:80、遺物1:4とした。
3. 遺構の海拔標高は各遺構ごとに統一し、水系高を標高として記した。
4. 土層の色調は1988年度版「新版 標準土色帖」に基づいた。
5. 遺物実測図番号と写真番号および観察表番号は一致する。
6. 遺物表中の () は推定値、◇ は残存値を表す。
7. 挿図中のスクリーントーンは以下のことを示す。

 地山
  焼土範囲
  粘土範囲
  掘方

第 I 章 発掘調査の経緯

第 1 節 経過と立地

岩村田遺跡群は、浅間山の麓に発達した南北方向に細長い田切り台地上に位置する、弥生時代から中世の複合遺跡である。今回調査を行った地点は遺跡群の北に位置し、標高は730m内外を測る。

今回、宅地造成工事が行われることとなり、遺跡の保護を目的として遺構の確認調査を実施した（令和4年7月6～8日）。その結果、開発地北側で竪穴住居跡2軒を発見した。主体者側と文化財保護協議の結果、工事によって遺構が破壊される1軒の発掘調査を実施した。



岩村田池畑遺跡位置図 (1:50,000)

第 2 節 調査体制

調査受託者 佐久市教育委員会 吉岡道明

事務局 社会教育部長 土屋 孝
文化振興課長 中沢栄二
文化振興課企画幹 井上 剛
文化財調査係長 伊澤信子（4～6月）
山本秀典（7月～）

文化財調査係 富沢一明
上原 学
小林真寿
久保浩一郎
松下友樹
任用職員 武者幸彦 渡辺学



岩村田池畑遺跡周辺遺跡分布図 (1:5,000)

第 3 節 調査日誌

令和4年10月20日 表土除去作業、機材搬入
遺構検出作業、住居址掘り
下げ開始。

10月21～25日 基準点設置、住居址掘り下げ、セクション図・平面図作成、写真撮影、掘方掘り下げ、機材撤収。

11月8日～令和5年1月10日

整理作業（遺物洗浄、注記、
接合、実測、写真撮影、報
告書原稿作成）。

第4節 基本層序

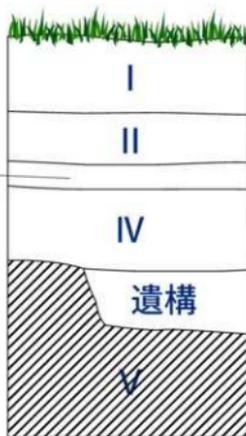
- I 暗褐色表土層(耕作土)
- II 暗灰褐色土層(きめ細かいシルト質)
- III 褐色土層(やや砂質)
- IV 黒褐色土層
- V 黄褐色ローム層(遺構検出面)

標高

730.0m

729.5m

729.0m

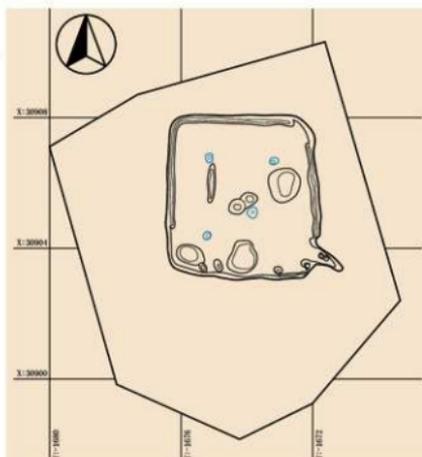


基本層序模式図

第5節 遺構・遺物の概要

遺構 竪穴住居址—1軒

遺物 土師器（平安時代）、鉄滓



岩村田池畑遺跡 調査区全体図 (1:150)

第II章 遺構と遺物

● H1号住居址

平面形態は、やや南北方向に長い長方形である。
規模は南北4.8m、東西4.3m、検出面から床面
までの深さは最大25cmを測る。

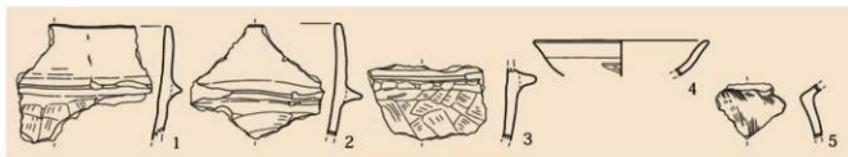
床面は全体的に土間状のやや硬質な面が広がり、
特に南西隅は硬質であった。

壁溝は幅15cm程度、深さ5～10cmの溝が存在
する。

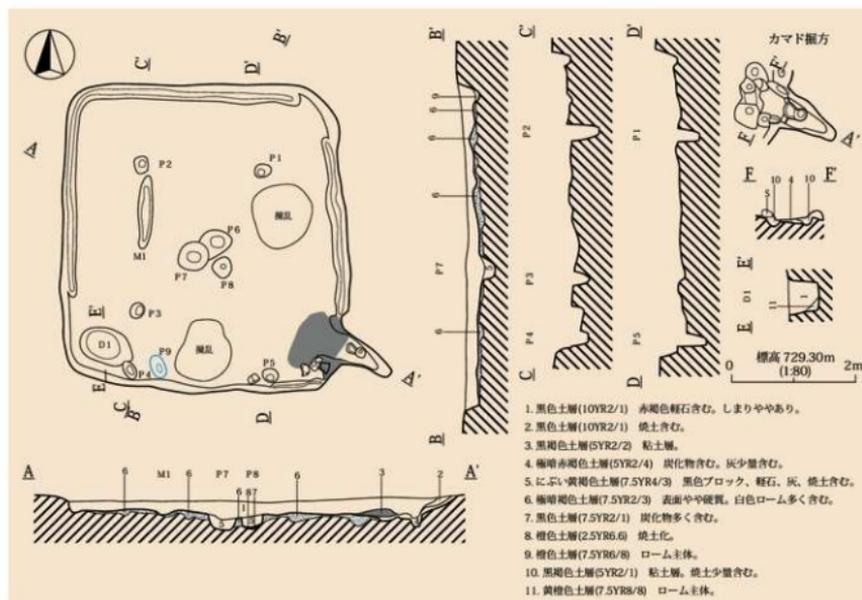
ピットは、規模・位置的に主柱穴と考えられる
ものが床面上で5個（径30cm、深さ50～60cm）
確認できた。

南西コーナーには長径90cm、短径60cm、深さ
50cmの土坑が存在した。貯蔵用と考えられる。

中央には深さ10～30cm程度の窪みが存在し、
焼土・灰・炭化物・小鉄滓が覆土内に含まれ、底
面が一部焼土化していた。鍛冶関連の作業が行わ
れていた可能性が考えられる。



H1号住居址出土遺物実測図



H1号住居址実測図

カマドは南西隅に構築されている。上部の構築物は大半が破壊撤去された状態であり、粘土で構築された袖の一部と火床付近から煙道に至る掘方が残存していた。また、火床前部に破壊したカマド材と思われる粘土の堆積が認められた。

遺物は、土師器(羽釜・坏・甕)の破片・鉄滓が僅かに出土した。

本住居址はカマド位置及び羽釜等出土物の特徴から平安時代と考えられる。

H1号住居址出土遺物観察表

No	器種	器形	法量				調整・備考	残存率・部位
			口径(長)	底径(短)	器高(厚)	重量等		
1	土師器	羽釜	—	—	—	—	内面口辺コナデ、踏込付、下部ヘラナデ。H1カマドから出土	口縁～体部破片
2	土師器	羽釜	—	—	—	—	外面ヘラナデ、踏込付、内面ヘラナデ。H1Ⅱ区から出土	口縁～体部破片
3	土師器	羽釜	—	—	—	—	外面ヘラナデ、踏込付、踏下部指押痕。内面ヘラナデ。H1Ⅲ区から出土	体部破片
4	土師器	坏	(14.1)	—	(2.8)	—	内外面コナデ。H1Ⅰ区から出土	口辺破片
5	土師器	甕	—	—	—	—	外面磨部痕。内面内面上部コナデ、下部へラ調整。H1Ⅱ区から出土	頸部周辺破片
6	鉄	鉄滓	2.64	1.55	1.18	4.60	H1Ⅰ区から出土。写真のみ掲載	—
7	鉄	鉄滓	1.79	1.53	1.02	2.80	H1Ⅰ区から出土。写真のみ掲載	—
8	鉄	鉄滓	1.88	1.39	0.99	1.50	H1Ⅱ区から出土。写真のみ掲載	—
9	鉄	鉄滓	1.48	1.01	0.82	1.00	H1Ⅲ区から出土。写真のみ掲載	—



表土除去作業(北から)



遺構検出状況(西から)



調査風景



H1号住居址完掘状況 (西から)



H1号住居址カマド (西から)



H1号住居址 P3 (北から)



H1号住居址 P4 (北から)



H1号住居址 P5 (北から)



H1号住居址 P8 (南から)



H1号住居址 D1 (北から)



H1号住居址出土遺物

4. 西芝間遺跡

所在地	佐久市岩村田字西芝間3801-1 3802-10、3800-6
開発主体者	個人
開発事業名	集合住宅建築工事
調査期間	令和5年1月24日～2月7日（現場） 令和5年2月1日～3月13日（整理）
調査面積	140㎡
調査担当者	上原 学

●凡例

1. 遺構の略記号は竪穴住居地-H、土坑-D、ピット-Pである。
2. 挿図の縮尺は、遺構1:80、遺物1:4とした。
3. 遺構の海拔標高は各遺構ごとに統一し、水系高を標高として記した。
4. 土層の色調は1988年度版「新版 標準土色帖」に基づいた。
5. 遺物実測図番号と写真番号および観察表番号は一致する。
6. 遺物表中の ○ は推定値、◇ は残存値を表す。
7. 挿図中のスクリーントーンは以下のことを示す。



西芝間遺跡全体図 (1:700)



西芝間遺跡位置図 (1:50,000)



西芝間遺跡 周辺遺跡分布図 (1:10,000)

第1章 発掘調査の経緯

第1節 経過と立地

西芝間遺跡は、浅間山の麓に発達した南北方向に細長い田切り台地上に位置する弥生時代～平安時代の複合遺跡である。標高は740m内外を測る。

今回、集合住宅建築工事が行われることとなり、遺跡の保護を目的として確認調査を実施した（令和4年11月22～25日）。その結果、開発地西側を中心に平安時代の住居地2軒、ピット群を発見した。主体者側と文化財保護協議の結果、工事によって遺構が破壊される浸透トレンチ及び擁壁部のピット群・住居地2軒の発掘調査を実施した。

第2節 調査体制

調査受託者

佐久市教育委員会
教育長 吉岡道明

事務局

社会教育部長 土屋孝
 文化振興課長 中沢栄二
 文化振興課企画幹 井上剛
 文化財調査係長 伊澤信子 (4~6月)
 山本秀典 (7月~)

文化財調査係 富沢一明 上原学
 小林真寿 久保浩一郎
 松下友樹
 任用職員 岩松茂年 小林敏雄
 武者幸彦 油井洋一
 渡辺学

2月1日~3月13日

整理作業(洗浄・注記・接合・実測・写真撮影・原稿作成)

第3節 調査日誌

令和5年

1月24日 表土除去作業・機材搬入・遺構検出作業・住居址掘り下げ開始。

1月25日~31日
 住居址掘り下げ・図面作成・写真撮影・掘方掘り下げ・ビット掘り下げ。

2月1日~7日
 ビット平面図等作成・機材撤収

第4節 基本層序

- I 黒褐色表土(耕作土) 40~60cm
 II 褐色土 10cm
 III 黄褐色ローム(遺構検出面)

第5節 遺構・遺物の概要

遺構 竪穴住居址-2軒(平安時代)

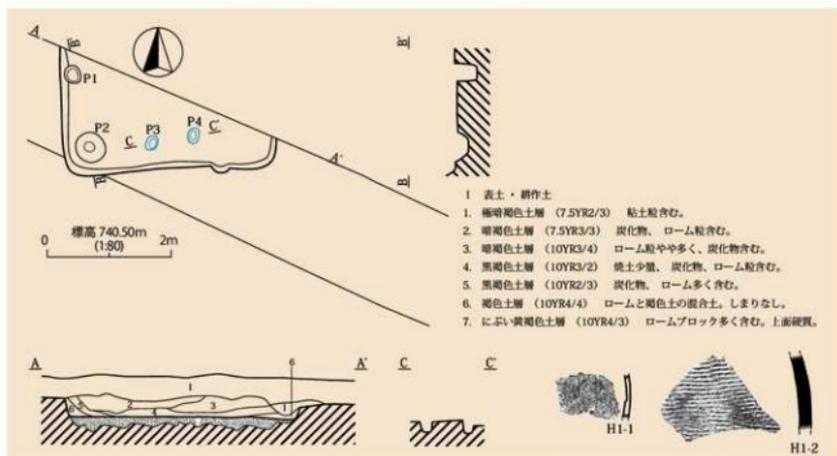
ビット(中近世)

遺物 土師器・須恵器(平安時代)

第II章 遺構と遺物

● H1号住居址

調査区北側の擁壁設置箇所に位置する。南北壁は調査規模で2.1m、東西壁は3.4m、検出面から床面までの深さは最大30cmを測る。床面は全体的に土間状硬質である。



H1号住居址 遺構・遺物実測図

H1号住居址出土遺物観察表

No	器種	器形	法 量				調 整・備 考	残存率・部位
			口徑(長)	底径(短)	器高(厚)	重量等		
1	土師器	甕	—	—	—	—	外面へラケズリ 内面ナデ	体部破片
2	須恵器	甕	—	—	—	—	外面タタキ 内面ナデ	体部破片

調査範囲内で壁溝は確認できなかった。

ピットは、床面上で2個、掘方で2個確認できた。P1は主柱穴、P2は貯蔵関係、P3・4は位置的

に入口に関すると考えられる。

調査規模が限られており、カマドは確認できな

かった。

遺物は、土師器(甕)、須恵器(甕)の破片が僅かに出土した。

本住居址は土器の特徴から平安時代後期と考えられる。

●H2号住居址

調査区南側の擁壁設置箇所に位置する。

調査規模は南北壁1.3m、東西壁1.9m、検出面から床面までの深さは最大35cmを測る。

床面は全体的に土間状硬質である。

調査範囲内で壁溝は確認できなかった。

ピットは床面上で6個確認でき、P1・2が主柱穴、P3～P6は位置及び形状から入口に関すると考えられる。

調査規模が限られており、カマドは確認できな

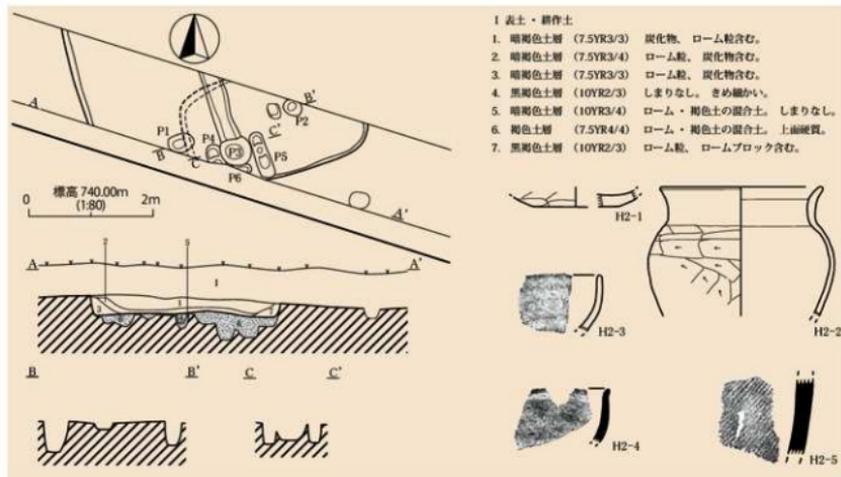
かった。

遺物は、土師器(坏・甕)、須恵器(坏・甕)の破片が僅かに出土した。

本住居址は土器の特徴から平安時代後期と考えられる。

●ピット群

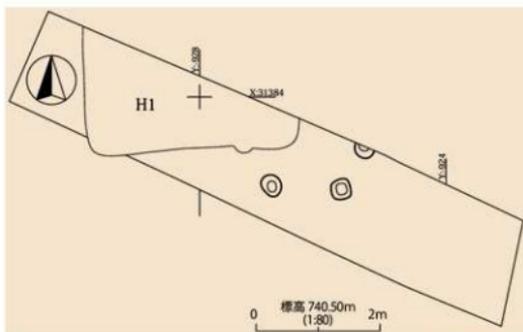
遺構検出は、地表下40cm(西側)～80cm(東側)に堆積した第Ⅱ層の黄褐色ローム上面である。確認調査の結果、開発地西側を中心に発見され、平面形は、やや隅丸の方形及び円形である。覆土は黒褐色土である。上層部は、耕作によって表土化したと考えられ、遺構の深さは10～40cmと浅い。遺物は出土しなかった。南西側に位置する栗毛板遺跡群 東赤座遺跡Ⅲでは同様の特徴を有する中近世のピット群が認められることから、ほぼ同時期の遺構と考えられる。



H2号住居址 遺構・遺物実測図

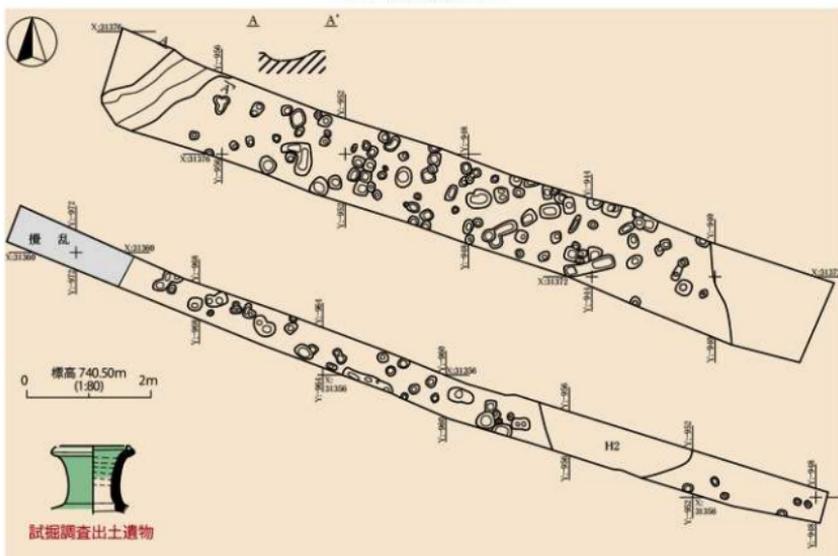
H2号住居址出土遺物観察表

No	器種	器形	法				調整・備考	残存率・部位
			口径(長)	底径(短)	器高(厚)	重量等		
1	土師器	坏	—	(7.0)	(1.3)	外面ヘラナデ 内面ミガキ 底部回転糸切り後ヘラ調整	底部10%	
2	土師器	甕	(13.2)	—	(10.6)	口縁ヨコナデ 外面ヘラケズリ 内面ナデ	口縁～体上部	
3	土師器	坏	—	—	—	内外面ヨコナデ	口縁部破片	
4	須恵器	坏	—	—	—	内外面クロコナデ 内面火タスキ	口縁部破片	
5	須恵器	甕	—	—	—	外面タタキ 内面ナデ	体部破片	



表土掘削状況

ピット群遺構実測図 (1)



ピット群遺構実測図 (2)

試掘調査出土遺物観察表

No	器種器形	法			重量等	調整・備考	残存率・部位
		口径(長)	底径(短)	器高(厚)			
1	葉恵器 壺	5.5	—	〈5.5〉	—	外面ヘラナデ 内外面ロクロナデ 自然軸付着 外面耳の痕跡か? 口縁~頸部	



土層堆積状況



試掘調査掘削状況



調査風景



H1号住居址完掘状況 (北西から)



H1号住居址掘方 (北西から)



H2号住居址完掘状況 (南東から)



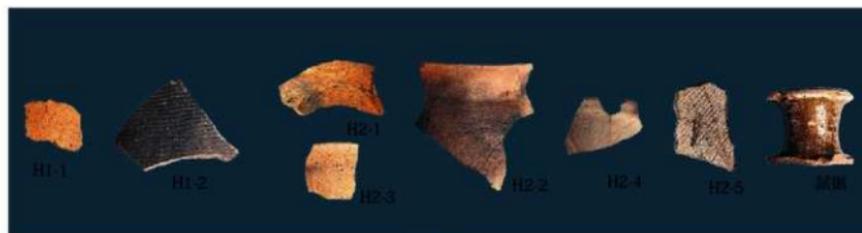
H1号住居址掘方 (南東から)



中央トレンチピット完掘状況 (南東から)



南側トレンチピット完掘状況 (北西から)



出土遺物

5. 塚原西屋敷遺跡

所在地	佐久市塚原字西屋敷1864-1
開発主体者	有限会社 中島和工務店
開発事業名	宅地造成工事
調査期間	令和5年1月16日～1月24日（現場） 令和5年1月25日～3月15日（整理）
調査面積	81㎡
調査担当者	上原 学

●凡例

1. 挿図の縮尺は、遺構1：100、遺物1：4とした。
2. 遺構の海拔標高は水系高を標高として記した。
3. 土層の色調は1988年度版「新版 標準土色帖」に基づいた。
4. 遺物実測図番号と観察表番号は一致する。
5. 遺物表中の（ ）は推定値、〈 〉は残存値をあらわす。

第1章 発掘調査の経緯

第1節 経過と立地

巨塚遺跡群は、一級河川である千曲川右岸の微高地上に位置する弥生時代～平安時代の複合遺跡である。標高は664m内外を測る。

今回、宅地造成工事が行われることとなり、遺跡の保護を目的として塚状の祠周辺における確認調査を実施した（令和4年4月19日）。その結果、現在使用している祠外周部と思われる石積と、石積内側に埋もれた石列を発見した。主体者側と文化財保護協議の結果、工事によって遺構が破壊される祠周辺部の発掘調査を実施した。

第2節 調査体制

調査受託者

佐久市教育委員会	教育長	吉岡道明
事務局		
社会教育部長	土屋孝	
文化振興課長	中沢栄二	
文化振興課企画幹	井上剛	



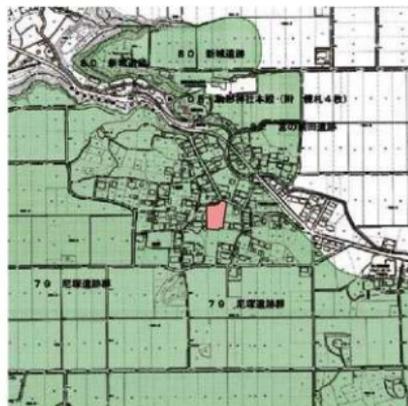
塚原西屋敷遺跡位置図 (1:50,000)

文化振興係長	伊澤信子（4～6月） 山本秀典（7月～）
文化財調査係	富沢一明 上原学 小林真寿 久保浩一郎 松下友樹
会計年度任用職員	岩松茂年 小林敏雄 武者幸彦 油井陽一 渡辺学

第3節 調査日誌

令和5年

1月16・17日	機材搬入・調査区清掃作業。
1月18日	調査区表土除去作業
1月19～23日	祠外周部・埋設石列部周辺掘削作業。全体写真撮影等。
1月24日	図面作成。機材撤収



塚原西屋敷遺跡 周辺遺跡分布図 (1:10,000)

1月25日～3月15日

室内整理作業（遺物洗浄・注
記・実測・図面・原稿作成）

第4節 基本層序

- I 黒褐色盛土（表土30cm）
- II 暗褐色土（遺物包含層20～30cm）
- III 褐色土（地山）

第5節 遺構・遺物の概要

- 遺構 石列（近世）、石垣（近代）
- 遺物 土師器・須恵器（平安時代）
陶磁器（近世・近代）

第II章 遺構と遺物

●石垣遺構

現況では祠周辺部に境界と思われる一段の石列が「コ」の字状（南北東）に認められ、南側には祠への入口と思われる階段状の石組みが存在した。石列の埋設状況を確認するため、石列外側の表土を除去した結果、南側は中央付近に入口部と思われる2段の階段と両脇に石柱が埋め込まれ、その他は2段の石垣となっていた。東側石垣の南側は2段積みで北に向かって3段となり、北東コーナーでは4段となった。また、北東コーナーは、整形した石材を隙間無く積み上げた「うちこみはぎ」工法であった。北側は4段程度の石垣であるが、石垣内部に植えられた樹木により、多くが崩落していた。西側に石垣は認められなかった。近年の造成等によって破壊撤去されたと考えられる。外周部の排出土内からは近代～現在と考えられる陶磁器・瓦等が出土した。

現況状況確認に引き続き、祠が祀られている現在の石垣遺構内部について、重機により表層の除去を行った。その後、人力による堆積土の掘り下げ作業を実施した結果、表土及び直下の暗褐色土からは近代から現在の陶磁器・瓦・五輪塔が出土した。さらに、地山と思われるややしまった褐色土上面まで掘り下げた結果、現在の石垣内側に詰め込まれた裏込と思われる集石及び裏込めの内側に南東コーナー付近と思われる「L」字状の石垣

（2段）が確認された（令和4年4月の確認調査で一部を確認）。確認した石垣の西方と北方の延長部は樹木等により破壊されていた。周辺の覆土からは、近世から近代と考えられる陶磁器・内耳



調査区全景（南から）



調査区全景（北東から）



調査区全景（南西から）



古い石垣（南西から）

土器が出土していることから、現在の石垣が造られる以前に、現在より小規模な石垣に囲まれた施設が存在していたと考えられる。時期は、出土遺

物から近世～近代としたい。

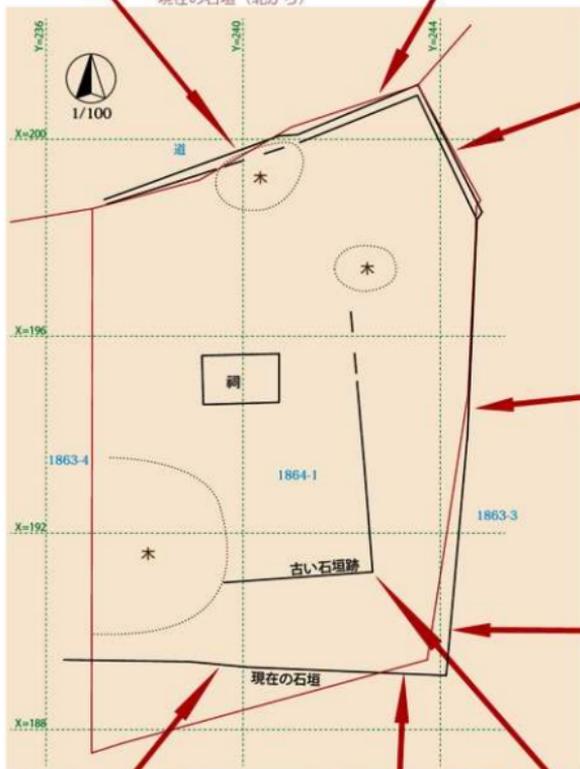
また、本遺構は、旧中山道沿いに位置することから関連性が窺われる。



現在の石垣（北から）



現在の石垣（北東角北から）



現在の石垣（北東角東から）



現在の石垣（東から）



現在の石垣（南東角東から）



入口階段（南から）



現在の石垣（南東南南から）



古い石垣（南東から）



堆積状況



調査風景

出土遺物観察表

No	器種	器形	法量				調整・備考	残存率・部位
			口径(長)	底径(短)	器高(厚)	重量等		
1	陶器	飯碗	—	(7.0)	<1.3>	—	瀬戸・美濃、染付、近代	底部60%
2	陶器	徳口	(7.6)	—	<10.6>	—	瀬戸・美濃、土絵付け	40%
3	陶器	皿	—	(6.6)	<1.8>	—	瀬戸・美濃、刷転写、明治25年以降	底部 50%
4	陶器	皿	(10.8)	(5.8)	2.8	—	瀬戸・美濃、刷転写、明治25年以降	20%
5	陶器	飯碗	(11.2)	(4.6)	5.8	—	瀬戸・美濃、近代	20%
6	陶器	碗	—	(5.2)	<1.5>	—	瀬戸・美濃、灰輪範、18世紀後半以降	高台 80%
7	陶器	壺	—	—	—	—	中津川、13世紀後半から14世紀前半	底部破片
8	陶器	壺	—	—	—	—	在地、幕末以降	底部破片
9	陶器	器鉢	—	—	—	—	在地、幕末~近代	底部破片
10	陶器	器鉢	(28.4)	—	<5.6>	—	在地	口縁 10%
11	陶器	鉢	—	(8.8)	<4.5>	—	徳津、ハケ目鉢、肥前IV~V期、18世紀後半から19世紀	底部 50%
12	土師瓦	壺	(9.6)	—	<4.6>	—	在地、露漉入札、幕末から近代	口縁 60%
13	土師瓦	橋木鉢	—	(8.2)	<4.5>	—	在地、幕末から近代	底部 30%
14	土師瓦	火鉢類	—	—	—	—	幕末から近代	破片
15	土師瓦	燈塔	—	—	—	—	江戸時代	破片
16	瓦器	甕	—	—	—	—	不明	破片
17	土師瓦	火鉢	—	—	—	—	在地、近世末	破片
18	五輪塔	空堀輪	20.3	14.8	13.6	2.6kg	—	100%



西屋敷遺跡出土遺物

6. 龍岡城跡 堀浚渫に伴う発掘調査

所在地 佐久市田口2990-1、3000-2
 調査期間 令和4年11月24日～令和5年3月9日
 調査面積 32㎡
 調査担当者 富沢一明



龍岡城跡位置図 (1:50,000)

●経過と立地

佐久市田口にある龍岡城跡は、幕末の慶應3年(1867)に竣工した田野口藩(のちの龍岡藩)の新陣屋で、函館五稜郭とともに国内で2か所しかない星形稜堡の城郭である。昭和9年(1934)に国史跡に指定されている。

現在、龍岡城内には市立田口小学校が存在したが、令和5年3月の閉校を転機として市教育委員会では「史跡龍岡城跡整備基本計画」を策定し第1期整備期間が開始している。この整備計画の内、城石垣の補修は大きな位置付けがなされ、修理の前段階として「石垣カルテ」の作成は急務となっている。この為、カルテ作成にむけて堀堆積土の浚渫を行うこととなり、浚渫に先立ち発掘調査により堀内の堆積土状況や堀底の確認することとなった。堀は幅約7～8m・総延長は530mで、第1工区として約半分の1887㎡が浚渫対象として計画された。

●調査の概要

トレンチは各稜堡均等に7ヶ所を設定して調査を行った。その結果、トレンチ内では部分的に後世の改変も確認されたが、堆積土下から堀底と考



調査状況

えられる白色粘土及び黄色粘土が敷き詰められた状態が検出された。特に残存状況のよい部分は内外の石垣際がわずかに盛り上げるように高く施工され、堀底に向けて緩い傾斜が観察できた。

この粘土層はボーリング調査の結果、10～40cmの厚みであることが予想できた。粘土層下は砂利層のような感触で地山と考えられる。

以上、1年目の調査では、現在まで不確実であった龍岡城堀底面の状況が一部明らかとなり大きな成果を得た。今後も残り堀部分の浚渫工事に合わせ確認調査を行う予定であり、新たな構造上の発見も期待される。



2 トレンチ粘土検出状況



3 トレンチ完掘状況

7. 龍岡城跡 樹形通路部分発掘調査

所在地 佐久市田口2990-1、3000-2
 調査期間 令和4年11月7日～24日
 調査面積 20㎡
 調査担当者 富沢一明



龍岡城跡位置図 (1:50,000)

●経過と立地

佐久市田口にある龍岡城跡は、幕末の慶應3年(1867)に竣工した田野口藩(のちの龍岡藩)の新陣屋で、函館五稜郭とともに国内で2か所しかない星形稜堡の城郭である。昭和9年(1934)に国史跡に指定されている。

龍岡城樹形は城の北西約350mの通称「田口街道」上に構築されている。城跡と同じく昭和9年(1934)に石垣部分のみ国史跡に指定され、現在、通路部分には新海神社の大鳥居が建立されている。柵形部分は、現在までに修理歴や発掘調査歴はない。市教育委員会では「史跡龍岡城跡整備基本計画」を策定し第1期整備期間が開始したことから、史跡の重要要素である樹形の詳細調査に着手し、まず石垣リストの作成と史跡指定から外れている通路部分の現状調査を行うこととなった。

●調査の概要

通路部分にトレンチを設定して調査を行った。その結果、表土下20cm程で踏み絞められた硬質面が確認できた。この硬質面は幅2～2.5mで現在



1 トレンチ発掘状況



3、4 トレンチ発掘状況

の通路に沿うように検出されたが、南東側の大鳥居付近は確認できなかった。また、1トレンチと命名した北西端のトレンチでは、上面の硬質面下より埋め戻しのような間層を挟み新たな硬質面が確認された。この硬質面は検出位置から、柵形構築以前の旧田口街道の道路面とも推定できる。

今後はトレンチ調査箇所を増やし、硬質面と樹形石垣との関係や、旧田口街道と考えられる硬質面の広がりを確認していく予定である。

8.香坂山遺跡

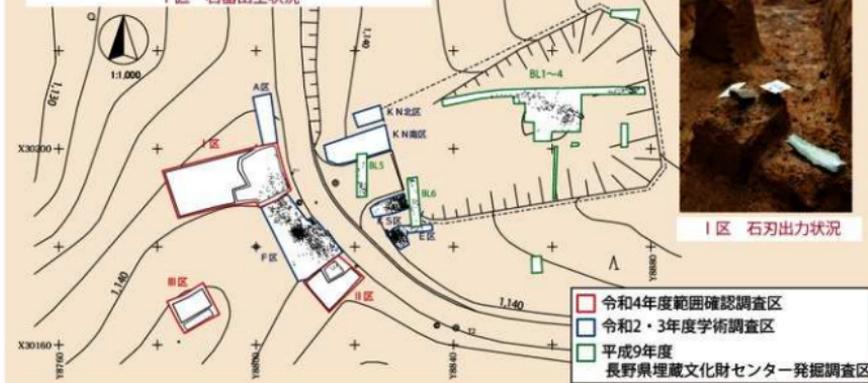
所在地	佐久市香坂
調査主体者	佐久市教育委員会
調査目的	保存目的の範囲確認調査
調査期間	令和4年9月5日～10月31日
調査面積	450㎡
調査担当者	久保浩一郎

●経過と立地

香坂山遺跡は、佐久市東北端部の香坂地籍の山林に立地する旧石器時代と縄文時代の複合遺跡である。平成9年度、長野県埋蔵文化財センターが実施した、上信越自動車道八風山トンネル通気口施設建設に伴う発掘調査により、遺跡周辺で産出するガラス質黒色安山岩を用いた石刃石器群が発見された。令和2・3年度、国武貞克氏による学術調査により石刃製作址が検出され、大型石刃・小石刃・尖頭形剥片がセットになる石器組成が明らかに



I区 石器出土状況



香坂山遺跡調査区全体図 (1:1,000)



香坂山遺跡位置図 (1:50,000)

された。36,800年前という年代測定値が得られたことから、日本最古の石刃石器群であるとともに、石器組成がユーラシア大陸の初期後期旧石器時代の石器群に類似していることから、日本列島における後期旧石器時代の成立を考えるうえで重要な遺跡であると考えられる。佐久市教育委員会では、本遺跡を史跡として保存・活用していくため、範囲確認調査を計画した。令和4年度は遺跡西側に調査区3箇所（I～III区）を設定し、遺物の分布を確認した。

●調査の概要

その結果、I区とII区でガラス質黒色安山岩を主体とする石器が分布することが確認できた。石器製作址が検出された学術調査F区と層的に連続しており、一連の石器群と考えられ、遺跡西側範囲が確認できたと考えられる。I区北端からは緑色凝灰岩製の石刃も出土した（写真）。



I区 石刃出力状況

中込・大塚古墳調査報告書

緊急調査団長 五十嵐幹雄

●本報告書は故五十嵐幹雄先生が調査を担当し、執筆した中込大塚の調査報告書である。僅かな部数が簡易印刷された冊子は、作成された部数も僅かなものであったため、一般には知られることのないものであった。また、簡易印刷であることから、写真と図が欠落しており、内容を理解することは困難であったが、本報告書に付随していたものと思われる写真と測量図が発見されたため、貴重な文化財調査を周知する目的からここに掲載することとした。内容については一切手を加えていない。

1 はじめに

この報告書は長野県佐久市中込大字大塚3016のイ番地に所在（面積175㎡）する中込大塚古墳（佐久市には三河田区に県指定史跡になっている三河田大塚古墳がある。これと区分するため「中込大塚古墳」と呼称している。）を昭和42年6月10日、11日の両日発掘調査したものである。

大塚古墳は国道は国道141号線の拡幅工事によって西裾部が削りとられることになったので佐久市教育委員会社会教育課の課長本間氏及び同課の西田・竹内氏らの骨折りにより市の文化財保護委員会と協議し、県教委の指導により緊急調査を実施した。

2 立地

佐久市岩村田町区を南にぬけると間もなく、佐久地方特有の田切り地形の窪地となる。ここを「猿久保」とよぶ。東側に国道141号線・西側に国鉄小海線がその間を約80メートルで並行し、南北の方向に通じている。間もなくゆるい坂を登りきると平地になる。ここが普通「中込原」と呼ぶ一面の畑地である。南北1キロメートル東西2キロメートルに亘る広大な面積で、ほぼ平地である。浅間山の火山灰の堆積土で形成されている。最上層が耕土化し、黒色で約30センチから40センチあり、以下は軽石粒を混入している褐色土層とともに給水性が非常に顕著である。南限は東から東南にむかって「宇とろ沢」が田切り、その西側一帯は滑津川による浸蝕断崖となり滑津川の流れにそって比高約20メートルを最高として中込原を台地形にしている。国鉄小海線は北中込原の中央に

おき、ここより南北ともに漸次掘削をつくり緩傾斜をもって台地下の低地に通じている。国道141号線は小海線と平行しておりその間のもっとも狭いところは約20メートル位で、小海線に沿って南北に通じているといつてよい。中込原は地層が吸水性が強いうえに、水利の便が悪いため水田化されず畑地である。もとは見わたす限りの桑園であったが、養蚕業が減少すると共に抜根され平畑となり、高原野菜の栽培がさかんである。戦前にK K 津上製作所が広大な敷地を求めて工場を設置したのを契機として開発が進められるようになった。最近附近町村の合併で佐久市ができその市役所を国道沿い東側に設置した。そのほか自動車の教習所などをはじめとして各種の企業の進出が目立ち、急速な開発が進んでいる。とくに小海線より西側一帯は佐久市の工場誘致地区に指定されているので今後益々開発されることであろう。中込原の開発と南佐久地域を結ぶ主要道路である国道はその交通量の増加が急激であり遂に道路拡幅に迫られ、着工となったのである。

大塚古墳は、国道141号線の中込原台地の南端より約150メートル北進した地点の国道東側に所在する。道路幅のせまい昔時は、墳丘も完形であったと思われるが、道路の拡幅の都度、西裾が削りとられ、石垣で改装された。よって原形は推測する実情である。今回の拡幅により約1.5メートルがさらに削りとられることになったので墳丘西裾は全くなくなり、墳頂平面部より直角の石垣を構築し、道路に接することになった。

3 墳丘の状態

この古墳について地元の人々は、「武田信玄ののろし台」だという。ここより南方約200メートルの附近で「宇とろ沢」をへだてて深堀の台地があり、ここに武田信玄の山城、深堀城地がある。この深堀城と関係づけたのろし台だろう。また墳丘の西よりに、しだれ桜の古株があり目通り二抱え位はあったと推測できる太いものである。このしだれ桜の開花は実に見事であり、その時に附近の人々が集まり盛大な花見の宴が開かれたという。また毎年1月1日には地元伊勢宮区の人々はこの墳頂に集まり新年のあいさつをかわしているとか、古来周囲の住民生活とふいかんけいをもっていったようである。

墳頂が比較的平らな広い形状となっているのは、

相撲の土俵がつくられ附近の子供たちの遊び場となっていたためとのことである。戦時中に防空壕に利用しようと、石室を発掘したが羨道部はすてになく、石室の保存状態も悪く、天井石の崩落などもあって防空壕としての利用は不能であったという。この時の発掘によって南側部に大きな変化を与えた。

墳頂の平地は東西に長く18メートルで、南北12メートルのほぼ卵形をしている。この周囲に桜・柳・くるみなどの若木がある。

つぎに、墳丘の四周をみるとつぎのごとくである。

西側国道141号線に接するところは墳丘の下底部が直になり約16.5メートルを示している。これは西裾部が道路によって切断されたため、道路沿いに高さ70センチの石垣が垂直に構築されたためである。この石垣を第1石垣という。第1石垣の上端部から約56センチ墳頂部にはいと3段づみで高さ約70センチの石垣が、第1石垣と平行に長さ約8.3メートルに構築してある。これを第2石垣という。第2石垣の上に、もう1段石垣がある。これを第3石垣という。第2石垣上端より1.2メートル墳丘部にはいって高さ約80センチを4段でつみ長さは5.5メートルである。第3石垣上端部より約80センチはいったところに馬頭観世音石碑の列がある。西面しているため西側が前列となり9基の石碑がある。文字だけのもの仏像だけのもの両者併用のものなど種々、石垣列と平行して並んでいる。後列には高さ1.3メートル、幅0.6メートル、厚さ0.16メートルで表裏ともに平滑に整形した馬頭観世音の石碑がやはり西面してたち、裏面に「弘化2年己巳4月吉祥日」と刻されている。この石碑が最大で且又最古のものである。この石碑の根元には石仏像2基が倒れている。このように数多く最近までここに馬頭観世音が奉祀されたのは国道141号線の昔時からの交通状況を推察する大事な資料であると思う。第1石垣から第3石垣に使用の石は川原石で、25センチ×20センチ大のほぼ等大なものである。このように墳丘西より部は3つの石垣でつくられている。後述するごとく今回の緊急調査はこの第1石垣と第2石垣を発掘調査した。

つぎに東より部と北より部の状況はおなじで、原形の保存は比較的良好。墳頂平面より平均20度

乃至25度の斜面である。しかし裾端は高さ約50センチの石垣がある。これは北西から北東を廻り東南隅にいたるまで長短7つの辺で墳丘の裾端をとりまいているが、周囲の畑地と古墳とを界するため昭和41年に佐久市当局の手によってつくられたものである。周囲土地所有者との関係などいくつかの問題があったことは思うが、もう少し広くとり、原形にそった石垣をつくりたいものと思う。

南より部は2段になっている。傾斜はすくないが、墳頂端より裾へはながい。中間段が石室の羨道があったところと判断できる。なお、東より傾斜は2.5メートル、北では3メートル、西は1.5メートル、南は4.5メートルである。したがって墳丘全体の大きさは東西約22メートル、南北約19.5メートルであり、高さは周囲の畑地と墳頂部平面との比高は平均約2.5メートルである。

4調査の経過

(1) 第1トレンチ

前述のごとく国道141号線によって、墳丘の西裾が削りとられその後には石垣がある。今回の拡張工事では第2石垣まで削りとることになった。よって調査の第1段階として墳丘表面にある雑草や芝生をとり、墳丘表面に葺石の存否しらべたが、石垣をつくる時の工事などによって表土にあたるころはすでに破壊しているため調査ができない。よって第1石垣を全部除去し墳丘築造のようすをみるために切断面を出した。南北約15メートルのトレンチとなり、これを第1トレンチとよぶ。墳丘は裾が南にながいで墳丘中央部は断面図中央より約2.5メートル北に位置している。最上層は所謂表土であるが、小礫の混入が多い土層である。幾度かの石垣築造工事の時に動いた層であり、墳丘築造当時とは無関係である。表土層の北よりが約1メートルと深いのは石垣築造の時に切りとられた部分が広がったことによるものであろう。南よりに第2層が約4メートルある。ここは第3層の盛土と考えられる黒色土と小礫を混している表土との混合層である。第3層は混入物のすくない黒色砂壤土である。これが古墳築造時の盛土ではないだろうか。南が深く、北が浅いのは、切断面下底部を道路面と同じレベルで発掘を打切ったためであり、下層との関連は不明である。ただ墳丘中央にあたる部位の第3層が30センチと浅かった

ためその部分だけに第4層に当たる地山と考える茶褐色の火山灰堆積土層とみることができた。

(2) 第2トレンチ

第2石垣を除去し第1トレンチと同じように南北の方向にトレンチを発掘しようとしたが、第2石垣の裏づめが多量であるため発掘が困難であるとともに第3石垣が崩壊する恐れがおきたので全部の発掘を中止して部分発掘をした。墳丘中央にあたる位置をえらび2メートル幅で第3石垣下まで発掘した。これを第2トレンチと呼ぶ。結局第1トレンチの断面にあたる場所は発掘を約1.2メートル進んだことになり、第2トレンチの断面のうち東側面(第1トレンチと平行する面)の状況はつぎのようである。

第1層は深さ約50センチで、こぶし大を最大とする礫の混入が多い。これは、第2石垣の裏詰である。第2層は多少小石が混入した黒褐色混合土層で約90センチの深さがある。これは、第2石垣を作るときに墳丘のために盛土したものが動いた土層であろう。第3層は、深さ約40センチの黒色砂壤土層である。これは第1トレンチの第3層と同じく墳丘築造のために盛土したものであろう。

以下は褐色土の地山となっている。また褐色土層の上に35センチ×22センチ位の大きさの石が墳丘を中心にして円弧の状態に1列に並べてあり墳丘築造時に使用したものではないかと推察したが、発掘した面積が少ないので今後の研究にまきたい。

(3) 第3トレンチ

墳丘の周辺調査として第1トレンチの延長線にあたることを北と南にそれぞれトレンチを発掘した。北側のものを第3トレンチと呼ぶ。墳丘北西隅にある石垣を南端とし、国道にぞって北へ約6メートルの長さに幅1メートルで発掘した。ここは人家があり最近こわした家敷跡であるが、もとは畑地であったという。表土層は黒色腐植土であるが、比較的混乱していない。家屋の下になっていたためであろうか。第2層は褐色土層でいわゆる地山となっている。第1層と第2層との間にはうすい混合層がある。第1層はトレンチの南端すなわち墳丘に接するところで深さ約35センチで北によるにしたがって漸次深くなりトレンチの途中で約50センチとなり、トレンチの北端では約95センチと深い。周濠の存否を考えるにはこれだ

けの発掘では無理である。将来機会があったら東又は北よりの方向へトレンチを発掘し調査する必要がある。

(4) 第4トレンチ

第1トレンチを南に約4メートル延長し第4トレンチと呼ぶ。北側の第3トレンチと同様にこの位置にも人家が建てられていたが最近空地になった。第3トレンチの保存状態はよかったが、第4トレンチは混乱していた。第4トレンチ東側に住居の新築があり、水道引込工事をし約1.5メートル幅に掘りかえされていたり、国道拡幅による側溝設置のための工事がすでに施工済であったりなどして地層が混乱した。したがって発掘も4メートルだけ可能であった。表土は約40センチの黒色腐植土であり以下褐色の地山となっている。第3トレンチと共に今後の発掘調査に期待したい。

(5) 調査のまとめ

前項各処に明記したようにこの調査は墳丘の一部が道路拡幅によって崩壊することに対しての緊急調査である。そのため発掘調査は対象部だけで終了した。各トレンチの項で述べたように、調査し得た表土は後世の手入が多く、葺石など古墳築造の遺構については調査ができなかった。墳丘構築のための盛土と考えられる黒色土は深さに相違があるが、これは墳丘に対する位置からくるものであろう。水分を含んで色沢があり、保存良好であった。集溜は現地地形からは全くわからないし、今回の発掘調査でも知り得なかった。

出土品は1点もない。また古墳周囲の畑地の表面調査をしたが遺物の採集はなかった。

5 おわりに

昭和41年県教委社会教育課では新産都市等緊急分布調査を実施した。その対象地として佐久市南部地区が選ばれ、調査団ができ私が団長となった。よって12月初旬佐久市教育委員会の援助を得てこの中込原の調査をした。近いうちに道路拡幅工事があり中込大塚古墳の一部が破壊される事が予想できた。今回の調査にも佐久地区在住の長野県考古学会会員に団員として参加を願い協力を得た。野沢南高等学校教諭藤沢平治氏は同校の郷土史クラブ員の女生徒20余名と共に参加し、発掘作業と実測の大部を引受け、調査の中核として御助力いただいた。下平秀夫氏は御多忙のところを長野市からわざわざ来佐し詳細な実測をしてくださった。

これらの方々により御礼を申し上げたい。

貴重な文化財が破壊前に調査でき、記録保存できたのは県教委指導主事林茂樹氏の熱意ある御指導によるものであることを明記し感謝の意を表するものである。

昭和42年6月18日

中込大塚古墳緊急発掘調査調査団編成表

団 長	五十嵐幹雄（上田市神川小学校教頭）
副団長	竹内 恒（佐久市文化財委員）
団 員	藤沢平治（野沢南高校教諭）
	黒岩忠男（小諸市坂の上小学校教諭）
	井出正義（八千穂北小学校教諭）
	小栗擦治（佐久市文化財委員）
	今井誠太郎（佐久市文化財委員）
	神津真助（佐久市文化財委員）
測量担当	下平秀夫（県文化財係）
	西沢恒広（佐久市建設課）

事務担当

本間徳衛（佐久市教育委員会社会教育課）
西田米夫（佐久市教育委員会社会教育課）
竹内敏馬（佐久市教育委員会社会教育課）
中沢厚史（佐久市教育委員会社会教育課）
黒沢俊彦（佐久市教育委員会社会教育課）

中込大塚古墳緊急発掘調査についての経過

期 日	場 所	内 容
42年2月22日	現場及び教育長室	国道141号線の拡幅に伴う古墳裾部の切削部の事前視察を建設事務所係員と教委係とで行い、事務処理について打合せ開催
42年4月7日	教育委員会	工事実施年度工事実施方法等について事務連絡及び打合せ開催
42年5月24日	現 地	佐久市文化財委員会による切削部分の現地視察
42年6月2日	教育長室	佐久市文化財委員会専門委員との調査実施方法打合せ
42年6月6日	現場及び教育長室	国道141号線拡幅工事施工について建設事務所よりの連絡により県文化財委員会より林主事来市、現地調査の上関係各事務打合せの結果緊急調査することに決定し、建設事務所と教育委員会との間に委託契約締結
42年6月9日	教育長室	佐久市文化財委員会を開催し、中込大塚古墳緊急調査について打合せ実施、文化財委員会を担当し調査を受託することに決定。調査団編成
42年6月10日～11日	現 地	委託契約に基づき緊急調査実施
42年6月13日～7月18日	教育委員会	調査終了後の事務整理

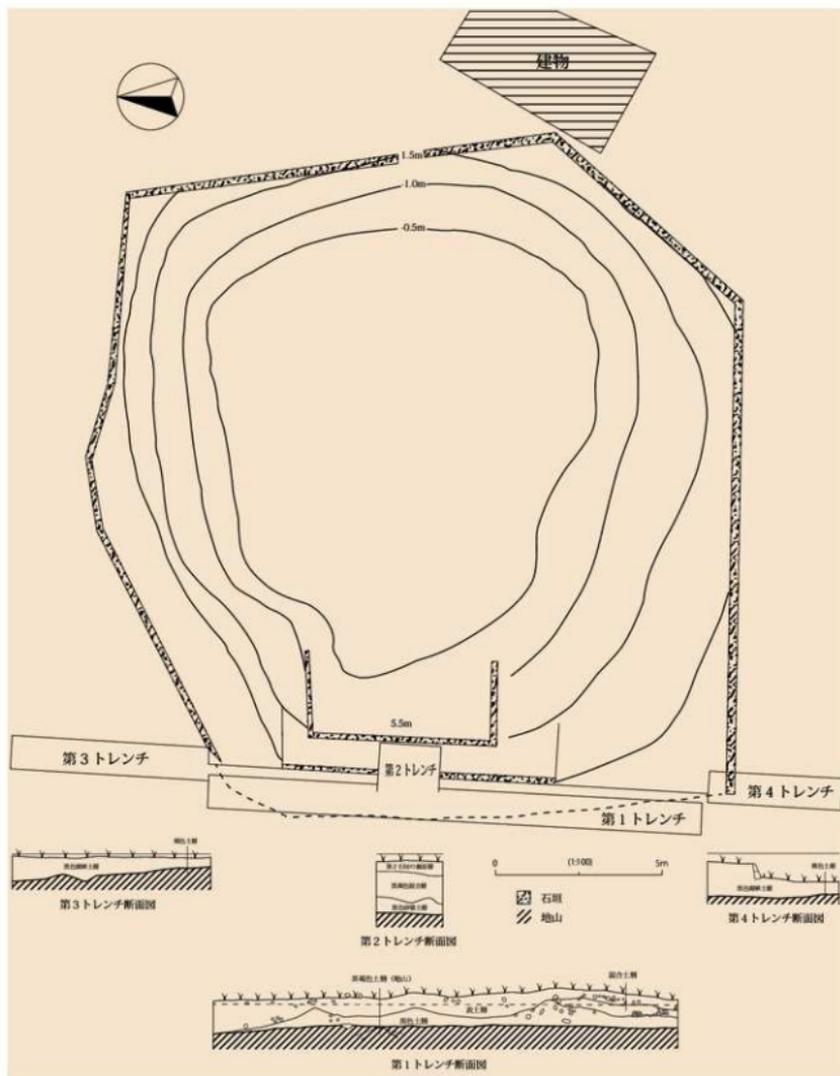
- ・写真は白黒であったが、キクハライクの厚意によりPhotoshopのニューラルフィルターによりカラー化した。



中込大塚古墳の現状（西から）



中込大塚古墳の現状（西南から）



中込大塚古墳平面及びトレンチ設定図



中込大塚古墳の現状（西南から）



中込大塚古墳の現状（西南から）



中込大塚古墳北側の現状



第1トレンチ（西から）



第1トレンチ（西から）



第1トレンチ断面1



第1トレンチ断面2



第1トレンチ断面3



第1トレンチ断面4



第1トレンチ断面5



第2トレンチ



第4トレンチ



第3トレンチ



第4トレンチ

佐久市文化財

年 報 32

2024年 3月31日

編集・発行 佐久市教育委員会

〒385-8501 長野県佐久市中込3056

社会教育部 文化振興課 文化財事務所

〒385-0051 長野県佐久市中込2913

TEL 0267-63-5321

印刷所 キクハラインク有限公司



長野県佐久市教育委員会

